



おもしろい
人学



概要 2023

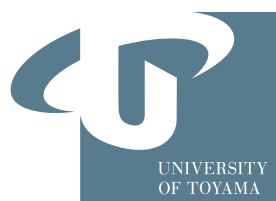
富山大学
University of Toyama



Contents

学章	1	学部附属教育研究施設	27
学長挨拶	2	未病研究センター	27
トピックス	3	ダイバーシティ推進センター	27
理念と目標	5	役職員数	28
沿革	5	学部学生の地域別入学状況	29
組織図	7	学科・専攻・取得できる学位	29
事務組織	8	学生の定員・現員	31
役職員	9	外国人留学生数	33
学部・教養教育院	11	卒業・修了者の進路状況	34
大学院	15	大学教育再生戦略推進費等採択状況	36
和漢医薬学総合研究所	19	共同研究講座	36
附属病院	20	寄附講座・寄附研究部門	37
附属図書館	21	附属病院診療実績	38
教育・学生支援機構	22	国際交流	39
研究推進機構	23	自治体等との連携協力に関する協定	43
地域連携推進機構	24	公開講座等の実績	44
国際機構	24	財務状況	45
国際交流会館	25	科学研究費助成事業(科研費)等の受入状況	47
学内共同教育研究施設	25	学生の厚生施設	48
学外との連携による教育研究施設	25	土地・建物、部局等所在地	49
保健管理センター	26	キャンパス図	51
附属学校	26	位置図	54

学章(シンボルマーク)



アルファベットの「T」と「U」をモチーフにしたデザインは、富山大学が天空・世界を飛翔するイメージを表しています。大きな楕円は国際社会を、小さい楕円は地域を表し、一体となって発展することを表現しているシンボルマークです。

マークの土台となる四角は伝統性を示しており、シンボルマークが三次元的でダイナミックに構成されることにより、創造性の豊かさを表現しています。

メインカラーのパール感を持った知的な印象のブルーグレーは個性的な色で、富山の豊かな自然の雪や水をもイメージできます。自然や人々の調和の中から生まれる独自の創造性を生かし、活躍する学生を育てていく世界レベルの大学を表現しています。

地域・世界で活躍する「人」の力を育む富山大学を目指す。

学長 齋藤 滋



富山大学は、平成17年に旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学が再編・統合し、18年目を迎えた全国有数の総合国立大学です。現在、9学部(人文・教育(旧人間発達科学)・経済・理・工・医・薬・芸術文化・都市デザイン)及び附属病院や和漢医薬学総合研究所など複数の教育・研究組織に、9,200名余の学生と2,300名余の教職員が在籍し、多様な分野での教育・研究・社会貢献活動に活躍しています。

SDGs、人生100年時代、カーボンニュートラル、グローバル化、人口減少などの社会変化が訪れる中、世界の国々が今後直面する課題にいち早く対応していく必要があります。成熟社会を迎える中で、課題を解決することができるのは「知識」とそれを組み合わせて生み出す「新しい知」であり、その基盤となる「高等教育」が鍵となります。

富山大学では2020年度から教育の3本柱を掲げました。①データサイエンス教育の全学必修化、②アクティブラーニングの推進、③英語教育の充実です。

更に富山県の主要産業であるアルミニウム産業を活性化するために、熊本大学との連携による先進軽金属材料国際研究機構の立ち上げを行い、2023年には、高岡キャンパスに共同研究棟を新設し、アルミリサイクル研究を通じて県内産業の発展に寄与していく予定です。また、高度人材育成にも力を入れ、電気自動車等で急速に需要の高まっているリサイクルアルミを利用することで、日本の軽金属産業と科学技術の発展に貢献する人材を輩出します。

加えて、富山県のもう一つの主要産業である医薬品産業に貢献するため、内閣府地方大学・地域産業創生交付金事業「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造計画にて、新たな創薬への取組を行っており、ムーンショット型研究開発にて、未病研究などの健康に対する研究や人材育成を行っています。社会貢献の取組をSDGsの枠組みを使い評価するTHEインパクトランキング2023では、富山大学は国内で24位タイ、全世界で401-600位にランクインしており、高く評価されています。その他、カーボンニュートラル、文化財保護、脳神経科学にも力を入れています。データサイエンスでは、文部科学省から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル及び応用基礎レベル)」に認定されています。富山県及び富山市と連携して、小・中・高等学校の教員、児童・生徒、保護者及び富山県内の社会人に対するデータサイエンス教育も行っています。

このように富山大学は、常に新しいことにチャレンジしており、「おもしろい大学」を目指しています。

本学が立地する富山県は、素晴らしい自然環境や農林水産資源、伝統ある歴史・文化、卓越した産業活動力など、豊かさと幸せを強く感じることのできる場所です。富山大学はこれからも、富山県における地域活性化の中核的拠点としての役割を担いながら、時代の課題に応える先端的研究を推進し、新しい業績や情報を社会に発信する役割を果たして参ります。学外関係者の皆様にも、引き続きご指導ご支援頂けますようお願い致します。

地域連携

アルミリサイクル研究開発ミニプラント「Plant Zero」を高岡キャンパスに新設

本学では地域の中核大学として、アルミリサイクルに関する研究を核に地域の課題解決に取り組んでおり、経済産業省の補助事業を受け、高岡キャンパスに「先進軽金属材料国際研究機構先進アルミニウム国際研究センター」の共同研究棟を新設移転し、オープンラボ型のアルミリサイクル研究開発ミニプラント「Plant Zero」を設置します。

企業、他大学等とのオープンイノベーションにより、アルミスクラップからの不純物除去を最重要課題としたリサイクルシステムの社会実装等、産官学金の連携による「富山型資源循環モデル」の創出を目指します。地域のアルミ関連企業の活性化だけでなく、日本の基幹産業である自動車産業の課題解決や、カーボンニュートラルに向けたグローバル課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。



教育

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」認定

工学部において実施するカリキュラムが、令和4年8月24日付で文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」に認定されました。

本学では令和2年度から、全学必修の教養教育科目「情報処理」において、数理データサイエンス教育を実施してきました。また、各学部で関連する授業科目を体系化した「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を展開してきました。このプログラムは令和3年度に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定されましたが、今回、リテラシーレベルよりもさらに専門的な内容(「データサイエンス基礎」「データエンジニアリング基礎」「AI基礎」等)を含み、かつ、演習や課題解決型学習等の実践的な教育方法による教育を含むことが認定要件とされている「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」に、工学部の知能情報工学コースを中心に実施してきたカリキュラムが認定されました。



認定の有効期限：
令和9年3月31日まで

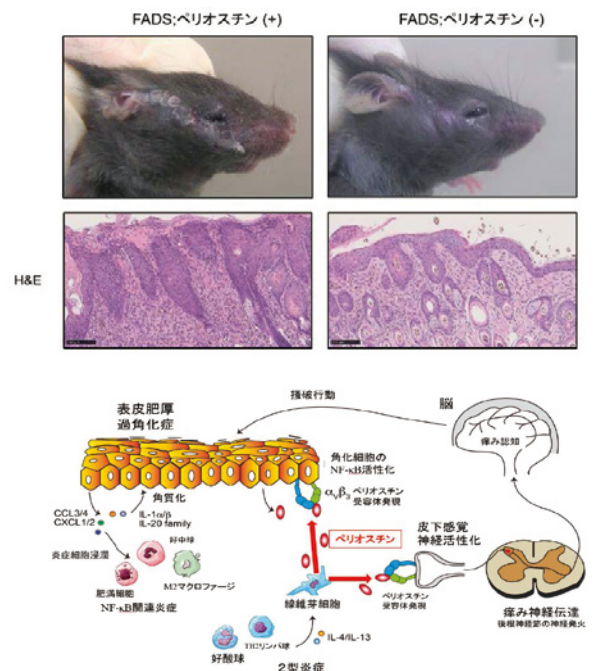
研究

アトピー性皮膚炎の痒みの原因解明とその治療薬を発見

本学学術研究部医学系の北島勲教授、学術研究部薬学・和漢系の歌大介准教授、佐賀大学医学部の研究グループは、皮膚組織で作られる「ペリオスチン」と呼ばれるタンパク質が、知覚神経に作用してアトピー性皮膚炎の痒みを引き起こすことを発見しました。また、ペリオスチンの作用を阻害すると、痒みが著明に改善することを、ヒトのアトピー性皮膚炎とよく似た病態のモデルマウスを用いて見出しました。

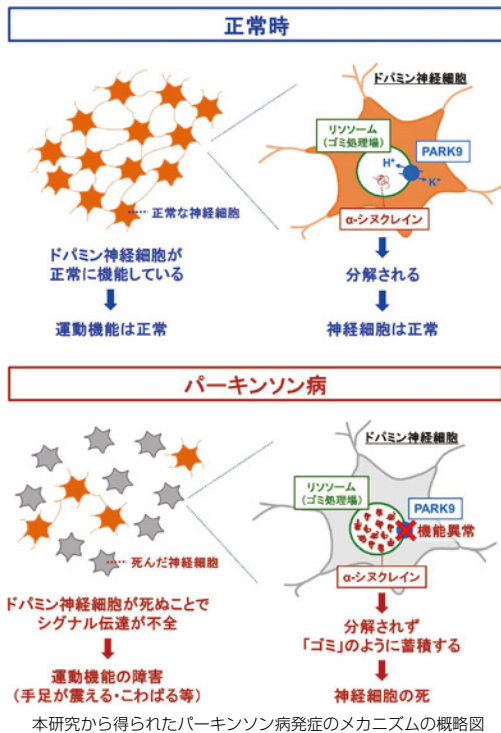
今回の研究では、遺伝子を組み換え生まれつきペリオスチンを作り出せない皮膚炎のモデルマウスで実験したところ、通常モデルマウスよりも痒みの改善が見られました。また、ペリオスチン阻害剤をモデルマウスに投与する実験においても、痒みの改善が見られました。

アトピー性皮膚炎の治療では、ステロイド外用薬、免疫抑制外用薬が長く利用されていますが、強い痒みに対する原因は未解決で、その治療薬が望まれています。今後、企業と連携し、ペリオスチン阻害剤をアトピー性皮膚炎の痒みに対する治療薬として開発を目指します。



パーキンソン病の新しい発症メカニズムを発見

本学学術研究部薬学・和漢系 薬物生理学研究室の藤井拓人助教、酒井秀紀教授、同生命科学先端研究ユニットの田淵圭章教授、同学術研究部医学系消化器・腫瘍・総合外科(第二外科)の藤井努教授、奥村知之講師、東京慈恵会医科大学、京都大学の国内共同研究グループが、パーキンソン病の新たな発症メカニズムを明らかにしました。



2023年4月20日記者会見の様子

研究グループは、パーキンソン病の病因分子の一つである「PARK9」が、水素イオンとカリウムイオンを輸送するタンパク質として機能することを発見し、PARK9によるイオン輸送機能の低下が、パーキンソン病の原因となる「 α -シヌクレイン」の細胞内蓄積に関与することを突き止めました。

これまでパーキンソン病患者の脳内では、 α -シヌクレインが異常に蓄積し、運動機能を司るドパミン神経細胞を死滅させることで、運動機能の障害などを発症させることが分かっていました。しかし、 α -シヌクレインが脳内に蓄積するメカニズムの全容は明らかになっていませんでした。本研究では、PARK9による水素イオンとカリウムイオンの輸送機能が、 α -シヌクレインの脳内蓄積を防ぐ重要な役割を担っていることを発見しました。今後、パーキンソン病の発症メカニズムや治療方法の解明に向け、新たな道を切り開くものと期待できます。

本研究成果は、英国科学誌「Nature Communications」に掲載されました。

大都市圏の中核人材活用により富山の持続的発展につなげる「富山“Re-Design”ラボ」

本学と協同組合全国企業振興センター(アイコック)および富山県は、地方経済の活性化、地方創生および人材育成のためのコンソーシアム「富山“Re-Design”ラボ」を設立し、実践型リカレントプログラムを開始しました。

「富山“Re-Design”ラボ」プログラムは、産学官が連携し、専門性やスキル、マネジメント能力を有する大都市圏の中核人材を本学の協力研究員として受入れ、未来に向け変革を進める企業とマッチングを行います。

令和4年7月よりプログラムを開始し、本学の協力研究員として7名を受入れました。協力研究員は半年間地域に住みながら、週4日は受入企業の経営課題の整理・解決を行い、週1日は本学の教員によるゼミや講義・演習等に参加し、大学での専門領域や地域に対する新たな学びと、経営課題解決に向けた助言やアドバイスを受けてきました。

同年12月の最終報告会では、自身・企業・地域の“Re-Design”シナリオと、受入企業での経営課題解決への取り組み成果が発表されました。プログラム修了後も多くの協力研究員は正社員、業務委託等の形で受入企業との関わりが継続され、首都圏からの中核人材の確保という点においても成果を得られる事業となりました。



富山大学の理念と目標

理念

富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、人文社会科学、自然科学、生命科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与する。

目標

I 教育 – 高い使命感と創造力のある人材の育成 –

富山大学は、学生の個性を尊重しつつ人格を陶冶するとともに、倫理観を育み、広い知識と深い専門的学識を教授することにより、「使命感と創造力に富む人材を育成する総合大学」を目指す。

1. 学生の主体的な学びを促し、多様な学修ニーズに応え、教育の質を保証するために、教育環境の充実と教育システムの改善を図り、教員の教授能力の不断の向上に努める。
2. 学士課程では、教養教育と専門教育を充実し、グローバルな知識基盤社会に貢献できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材を育成する。
3. 大学院課程では、体系的で高度な専門教育を充実し、現代の多様な課題に果敢に挑戦し解決できる人材を育成する。

II 研究 – 地域と世界に向けて先端的研究情報の発信 –

富山大学は、学問の継承・発展と基礎的な研究を重視するとともに、現代社会の諸問題に積極的に取り組み、融合領域の研究を推進する。また、基礎研究を充実するとともに、「地域と世界に向けて先端的研究情報を発信する総合大学」を目指す。

1. 真理を追究する基礎研究を尊び、学問の継承・発展に努めるとともに、地域や地球規模の課題解決、社会変革につながるイノベーションの創出を推進する。
2. 先端的な研究環境を整備し、世界的な研究拠点を構築する。
3. 世界水準のプロジェクト研究を推進するとともに、研究成果を社会に還元し、世界の持続的な発展に貢献する。また、基礎的・萌芽的な研究を積極的に発掘し、その展開を支援する。

III 社会貢献 – 地域と国際社会への貢献 –

富山大学は、多様な分野からなる総合大学のスケールメリットを活かして、地域社会が抱える多様な問題及び地域を越えたグローバルな課題に取り組み、「地域と国際社会に貢献する総合大学」を目指す。

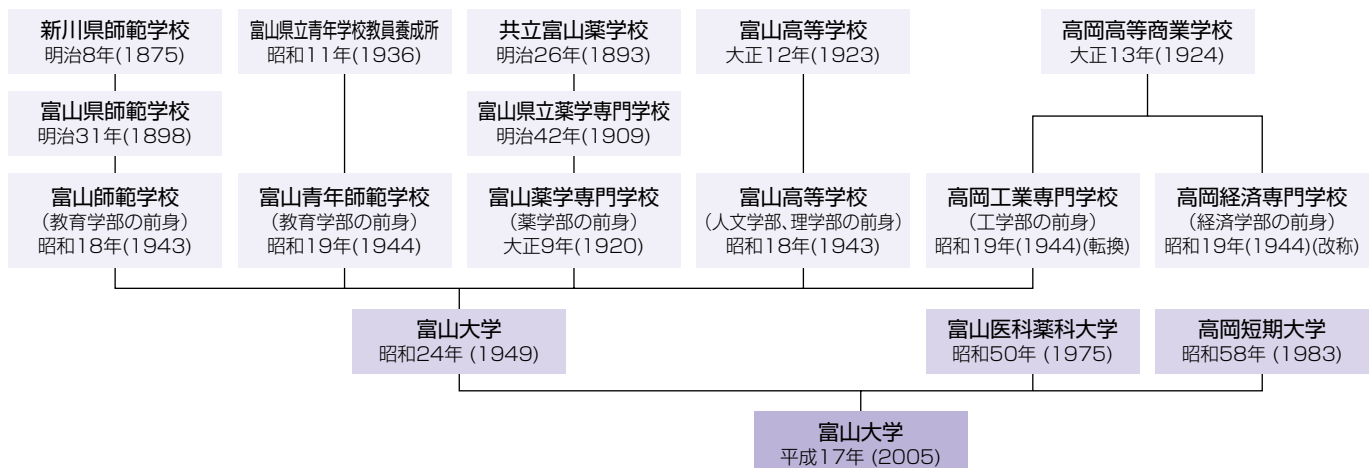
1. 地域社会の教育と文化・芸術の発展に寄与するとともに、地域再興への先導的役割を果たす。
2. 地域の特性を活かし、産学官連携を通じて地域産業の活性化を促進する。
3. 地域の中核的医療機関としての大学附属病院は、専門性と総合性を併せ持つ質の高い医療を提供するとともに、地域の包括的な医療を牽引する。
4. 大学間交流や国際貢献を推進するとともに、環境問題等の現代社会の重要課題に取り組む。

IV 運営 – 透明性の高い大学運営 –

富山大学は、教育、研究、社会貢献を積極的に推進するため、「大学運営において高い透明性を持ち、社会に開かれた総合大学」を目指す。

1. 国民から負託された国立大学法人であるとの明確な認識のもとに、透明性の高い効率的な大学運営を行い、社会に対する説明責任を果たす。
2. 学内外の意見と評価を大学運営に反映し、大学の人材、資金、施設・設備等の資源を最も有効に活用する。
3. 組織と構成員は自己点検と自己評価に努め、時代や社会の要請に対応して、改革と改善を果敢に推進する。
4. 個人情報の保護に努めつつ、情報公開を積極的に行い、構成員全てが持てる力を充分に発揮できる職場環境を構築する。

沿革



再編・統合前

富山大学	
昭和24年(1949)	国立学校設置法により富山大学発足(文理学部、教育学部、薬学部、工学部)
昭和28年(1953)	経済学部設置(文理学部より独立)
昭和34年(1959)	経営短期大学部併設
昭和38年(1963)	大学院薬学研究科設置
昭和40年(1965)	放射性同位元素総合実験室設置
昭和42年(1967)	大学院工学研究科設置 教養部設置(文理学部を改組)
昭和49年(1974)	和漢薬研究所設置
昭和50年(1975)	保健管理センター設置
昭和52年(1977)	人文学部、理学部設置(文理学部を改組)
昭和53年(1978)	大学院理学研究科設置
昭和56年(1981)	自然観察実習センター設置
昭和61年(1986)	大学院人文科学研究科設置
昭和62年(1987)	地域共同研究センター設置
平成2年(1990)	経営短期大学部廃止
平成3年(1991)	大学院経済学研究科設置
平成5年(1993)	教養部廃止
平成6年(1994)	大学院教育学研究科設置
平成8年(1996)	生涯学習教育研究センター設置
平成10年(1998)	大学院工学研究科を大学院理工学研究科に改称(大学院理学研究科を廃止)
平成11年(1999)	留学生センター設置 水素同位体科学研究センター設置 水質保全センター設置
平成12年(2000)	機器分析センター設置
平成13年(2001)	極東地域研究センター設置 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置
平成15年(2003)	総合情報基盤センター設置 極低温量子科学研究センター設置
平成16年(2004)	国立大学法人法の規定により国立大学法人となる

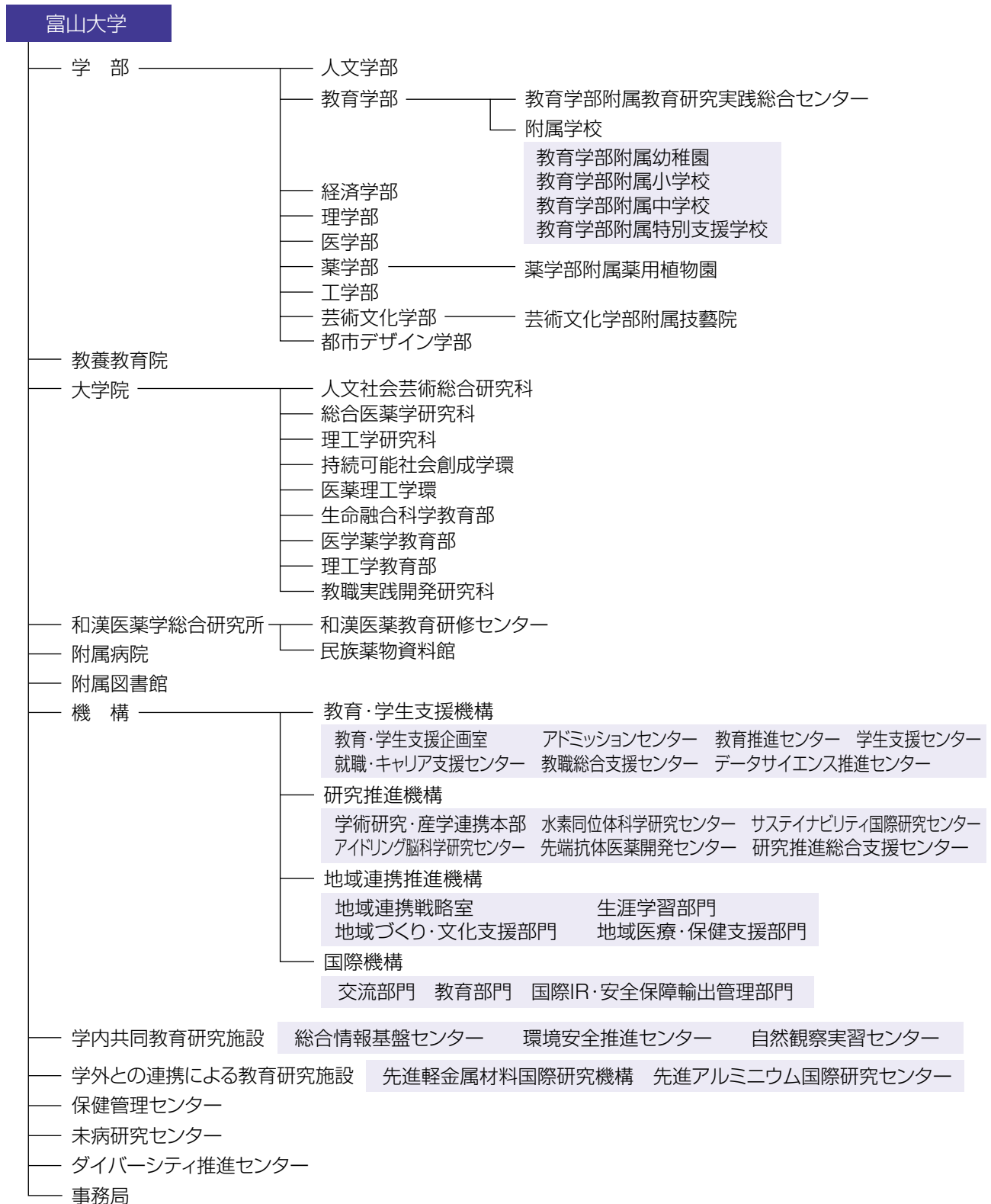
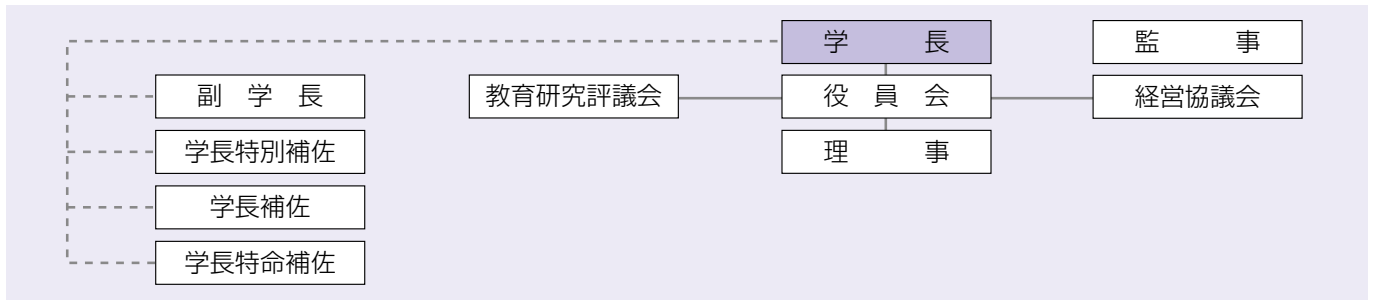
富山医科薬科大学	
昭和50年(1975)	富山医科薬科大学開学 医学部設置
昭和51年(1976)	薬学部設置(富山大学より移行)
昭和53年(1978)	和漢薬研究所設置(富山大学より移行)、 大学院薬学研究科設置、放射性同位元素実験施設設置
昭和54年(1979)	附属病院設置
昭和56年(1981)	動物実験センター設置
昭和57年(1982)	大学院医学研究科設置
昭和58年(1983)	保健管理センター設置
昭和59年(1984)	実験実習機器センター設置
平成7年(1995)	遺伝子実験施設設置
平成9年(1997)	大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称
平成14年(2002)	生命科学実験センター設置 (動物実験センター、遺伝子実験施設及び放射性同位元素 実験施設を改組)
平成16年(2004)	国立大学法人法の規定により国立大学法人となる
平成17年(2005)	生命科学先端研究センター設置 (生命科学実験センター及び実験実習機器センターを改組)

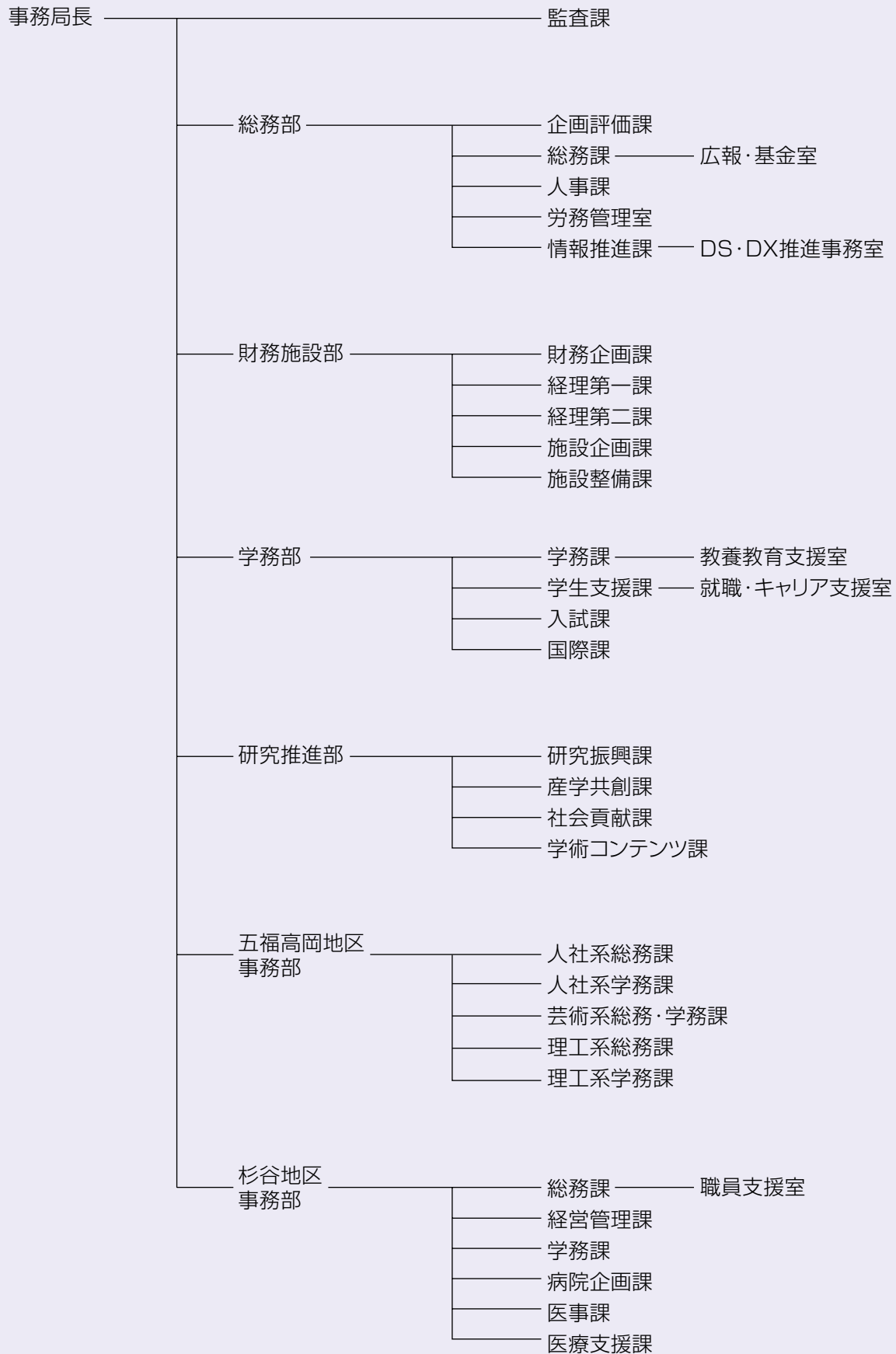
高岡短期大学	
昭和58年(1983)	高岡短期大学開学(産業工芸学科、産業情報学科)
昭和61年(1986)	短期大学開放センター設置
昭和63年(1988)	専攻科地域産業専攻(1年制、1専攻)設置
平成7年(1995)	専攻科を2年制、3専攻に再編改組
平成12年(2000)	学科を産業造形学科、産業デザイン学科、 地域ビジネス学科の3学科に再編改組
平成13年(2001)	保健管理センター設置
平成16年(2004)	国立大学法人法の規定により国立大学法人となる

再編・統合後

富山大学	
平成17年(2005)	富山大学、富山医科薬科大学及び高岡短期大学を再編・統合し、富山大学となる 芸術文化学部設置 人間発達科学部設置(教育学部を改組) 和漢医薬学総合研究所設置(和漢薬研究所を改組) 学生支援センター、キャリアサポートセンター、アドミッションセンター、地域医療支援センター、地域づくり・文化支援センター設置
平成18年(2006)	大学院生命融合科学教育部、大学院医学薬学教育部、大学院理工学教育部設置(大学院医学系研究科、大学院薬学研究科、大学院理工学研究科を統合・改組)
平成19年(2007)	知的財産本部設置
平成20年(2008)	地域連携推進機構設置(地域共同研究センター、生涯学習教育研究センター、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー、地域医療支援センター、地域 づくり・文化支援センター、知的財産本部を統合・改組)
平成21年(2009)	臨床倫理センター設置
平成22年(2010)	高岡短期大学部廃止 自然科学研究支援センター設置(機器分析センター、放射性同位元素総合実験室、極低温量子科学研究センターを統合・改組) 大学教育支援センター設置
平成23年(2011)	大学院芸術文化学研究科設置 大学院人間発達科学研究科設置(大学院教育学研究科を改組)
平成24年(2012)	臨床倫理センターを臨床研究・倫理センターに改称
平成25年(2013)	国際交流センター設置(留学生センターを改組)
平成26年(2014)	環境安全推進センター設置(水質保全センターを改組)
平成27年(2015)	教育・学生支援機構設置(学生支援センター、キャリアサポートセンター、アドミッションセンター、大学教育支援センターを改組) 研究推進機構設置(水素同位体科学研究センター、自然科学研究支援センター、極東地域研究センター、生命科学先端研究センターを改組)
平成28年(2016)	教養教育院設置 大学院教職実践開発研究科設置 附属病院臨床研究管理センター設置(附属病院臨床研究推進センター、臨床研究・倫理センターを統合・改組)
平成30年(2018)	都市デザイン学部設置、国際機構設置(国際交流センターを改組)
令和元年(2019)	教員組織と教育組織分離の全学的実施 大学の数理及びデータサイエンスの全国展開事業(協力校)採択
令和2年(2020)	芸術文化学部附属技藝院(文化財保存・新造形技術研究センター)設置 データサイエンス推進センター設置 アイドリング脳科学研究センター設置 先進アルミニウム国際研究センター設置 未病研究センター設置 ダイバーシティ推進センター設置
令和3年(2021)	先進軽金属材料国際研究機構設置
令和4年(2022)	教育学部設置(人間発達科学部を改組) 大学院人文社会芸術総合研究科設置(大学院人文科学研究科、大学院人間発達科学研究科、大学院経 済学研究科、大学院芸術文化学研究科を統合・改組) 大学院総合医薬学研究科設置(大学院医学薬学教育部を改組) 大学院理工学研究科設置(大学院理工学教育部を改組) 大学院持続可能社会創成学環設置 大学院医薬理工学環設置 先端抗体医薬開発センター設置
令和5年(2023)	サステナビリティ国際研究センター設置(極東地域研究センターを改組)

組織図





役員

役員

学長	齋藤 滋
理事、副学長	井上 将彦
理事、副学長	北島 勲
理事、副学長	池田 真行
理事、副学長	磯部 祐子
理事、副学長	武山 良三
理事、事務局長	下敷 領 強
理事(非常勤)	高木 繁雄
監事	長津 輝彦
監事(非常勤)	宮林 紀子

副学長・学長補佐

副学長	林 篤志
副学長	鳥海 清司
副学長	會澤 宣一
副学長	酒井 秀紀
学長特別補佐(非常勤)	水野 正明
学長特別補佐(非常勤)	杉田 修
学長特別補佐(非常勤)	天野 学
学長特別補佐(非常勤)	林 曉
学長補佐	柴柳 敏哉
学長補佐	豊岡 尚樹
学長補佐	張 勁
学長特命補佐(非常勤)	高津 聖志
学長特命補佐(非常勤)	村上 哲
学長特命補佐(非常勤)	大寺 克昌
学長特命補佐(非常勤)	花木 悟
学長特命補佐(非常勤)	張田 真
学長特命補佐(非常勤)	成瀬 喜則

経営協議会

学長	齋藤 滋
理事、副学長	井上 将彦
理事、副学長	北島 勲
理事、副学長	磯部 祐子
理事、副学長	武山 良三

理事、事務局長	下敷 領 強
副学長、附属病院長	林 篤志
富山県立大学名誉教授	石塚 勝
北陸コカ・コーラボトリング株式会社代表取締役会長	稲垣 晴彦
救急薬品工業株式会社代表取締役社長	稲田 裕彦
玉川大学芸術学部元教授	大西 珠枝
富山県副知事	蔵堀 祐一
公益財団法人富山県新世紀産業機構理事長	伍嶋 二美男
金沢大学名誉教授	林 勇二郎
前富山市長	森 雅志

教育研究評議会

学長	齋藤 滋
理事、副学長	井上 将彦
理事、副学長	北島 勲
理事、副学長	池田 真行
理事、副学長	磯部 祐子
理事、副学長	武山 良三
理事、事務局長	下敷 領 強
理事(非常勤)	高木 繁雄
副学長、附属病院長	林 篤志
副学長	鳥海 清司
副学長	會澤 宣一
副学長	酒井 秀紀
大学院人文社会芸術総合研究科長	大氏 正嗣
大学院総合医薬学研究科長、大学院医学薬学教育部長、医学部長、医学系長	関根 道和
大学院理工学研究科長、大学院理工学教育部長、工学部長、工学系長	小熊 規泰
大学院持続可能社会創成学環長	和田 直也
大学院医薬理工学環長	細谷 健一
大学院生命融合科学教育部長	高雄 啓三
大学院教職実践開発研究科長	岡崎 浩幸
人文学部長、人文科学系長	齋藤 大紀
教育学部長、教育学系長	徳橋 曜
経済学部長、社会科学系長	森口 毅彦
理学部長、理学系長	松田 恒平

薬学部長、薬学・和漢系長	松谷 裕二
芸術化学部部長、芸術化学系長	長柄 毅一
都市デザイン学部部長、都市デザイン学系長	安永 数明
和漢医薬学総合研究所長	早川 芳弘
人文科学系	伊藤 智樹
教育学系	片岡 弘
社会科学系	岩内 秀徳
理学系	井川 善也
医学系	一條 裕之
薬学・和漢系	水口 峰之
工学系	中 茂樹
芸術化学系	高橋 誠一
都市デザイン学系	小野 英樹
教養教育学系	名執 基樹
教育研究推進系	松井 祥子
附属病院	山本 善裕

学部

人文学部

人文学部長	齋藤 大紀
-------	-------

教育学部

教育学部長	徳橋 曜
附属教育実践総合センター長	上山 輝
附属幼稚園長	黒田 卓
附属小学校長	原野 克憲
附属中学校長	西田谷 洋
附属特別支援学校長	小林 真

経済学部

経済学部長	森口 毅彦
-------	-------

理学部

理学部長	松田 恒平
------	-------

医学部

医学部長	関根 道和
------	-------

薬学部

薬学部長	松谷 裕二
------	-------

附属薬用植物園長 酒井 秀 紀

工学部

工学部長 小 熊 規 泰

芸術文化学部

芸術文化学部長 長 柄 毅 一

附属技藝院長
(文化財保存・新造形技術研究センター) 林 曉

都市デザイン学部

都市デザイン学部長 安 永 数 明

教養教育院

教養教育院長 武 山 良 三

大学院

人文社会芸術総合研究科

人文社会芸術総合研究科長 大 氏 正 嗣

総合医薬学研究科

総合医薬学研究科長 関 根 道 和

理工学研究科

理工学研究科長 小 熊 規 泰

持続可能社会創成学環

持続可能社会創成学環長 和 田 直 也

医薬理工学環

医薬理工学環長 細 谷 健 一

生命融合科学教育部

生命融合科学教育部長 高 雄 啓 三

医学薬学教育部

医学薬学教育部長 関 根 道 和

理工学教育部

理工学教育部長 小 熊 規 泰

教職実践開発研究科

教職実践開発研究科長 岡 崎 浩 幸

和漢医薬学総合研究所

和漢医薬学総合研究所長 早 川 芳 弘

附属和漢医薬教育研修センター長 柴 原 直 利

附属民族薬物資料館長 森 田 洋 行

附属病院

附属病院長 林 篤 志

附属図書館

附属図書館長 酒 井 秀 紀

機 構

教育・学生支援機構

教育・学生支援機構長 磯 部 祐 子

教育・学生支援企画室長 磯 部 祐 子

アドミッションセンター長 鳥 海 清 司

教育推進センター長 磯 部 祐 子

学生支援センター長 會 澤 宣 一

就職・キャリア支援センター長 會 澤 宣 一

教職総合支援センター長 鳥 海 清 司

データサイエンス推進センター長 栗 本 猛

研究推進機構

研究推進機構長 北 島 勲

学術研究・産学連携本部長 阿 部 仁

水素同位体科学研究センター長 阿 部 孝 之

サステナビリティ国際研究センター長 和 田 直 也

アイドリング脳科学研究センター長 井ノ口 馨

先端抗体医薬開発センター長 磯 部 正 治

研究推進総合支援センター長 田 淵 圭 章

地域連携推進機構

地域連携推進機構長 武 山 良 三

地域連携戦略室長 岸 本 壽 生

生涯学習部門長 山 根 拓

地域づくり・文化支援部門長 安 嶋 是 晴

地域医療・保健支援部門長 田 村 須 賀 子

国際機構

国際機構長 池 田 真 行

副機構長 木 村 裕 三

交流部門長 吉 川 朋 子

教育部門長 田 中 信 之

国際IR・安全保障輸出管理部門長 望 月 貴 年

学内共同教育研究施設

総合情報基盤センター

総合情報基盤センター長 栗 本 猛

環境安全推進センター

環境安全推進センター長 加 賀 谷 重 浩

自然観察実習センター

自然観察実習センター長 高 橋 満 彦

学外との連携による教育研究施設

先進軽金属材料国際研究機構長 河 村 能 人

先進アルミニウム国際研究センター長 柴 柳 敏 哉

保健管理センター

保健管理センター長 松 井 祥 子

未病研究センター

未病研究センター長 齋 藤 滋

ダイバーシティ推進センター

ダイバーシティ推進センター長 張 勁

事務局

事務局長 下 敷 領 強

総務部長 小 野 寺 徹

財務施設部長 溝 口 寛 士

学務部長 坂 下 裕 一

研究推進部長 林 紀 英

五福高岡地区事務部長 前 田 等

杉谷地区事務部長 岩 城 稔

「データサイエンス教育」「アクティブ・ラーニング」「英語教育」を教育の3本柱として推進

データサイエンス教育の推進：社会に必要な“データやデジタル技術を使いこなす力”の養成

富山大学では、数理・データサイエンスに関する基礎力を培うために関連する授業科目を体系化した「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を全ての学部学生に提供します。1年次に必修科目「情報処理」でパソコンの基本的な使い方や、数理・データサイエンスに関する基本を学びます。その後は、数理・データサイエンスに関する科目群の中から、興味・関心のある科目を選択履修し、知識の幅を広げることができます。2年次以降は、各学部の専門教育の中で、それぞれの専門性を反映した科目が用意されています。関心があれば他学部が開講する科目も履修することができます。

*「富山大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル及び応用基礎レベル）」に認定されています。

アクティブ・ラーニングの推進：自ら考え自ら学び、課題解決に繋げる“姿勢”の確立

富山大学では、「学生の主体的な学びを促す」ことを、全学における教育目標とし、教員による一方向的な講義形式の教育と異なる、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法である「アクティブ・ラーニング」の推進を、全学的に進めています。グループワークやディスカッション、反転授業、PBL型授業等の手法も取り入れながら、学生が自ら考え課題を解決に導く能力の修得を目指しています。アクティブ・ラーニング導入率は、2022年度の後期では73%まで広がっています。

英語教育の推進：グローバルな世界で通用する“スキル”の獲得

・1年次 年2回のTOEIC試験を実施

1年次生を対象に、入学直後の4月とその翌年の1月に、TOEIC-IPテストを実施します。

・テーマ別クラスの開設

1年次の後期にテーマ別クラスを開設します。教員の専門性や得意分野を生かした授業が展開され、学生は自分の興味・関心によりクラスを選択し、各テーマに沿って英語を学びます。これらの授業を通して、2年次以降の専門課程に資する英語力の獲得を目指します。

・いつでもどこでも英語学習

各自の目的・レベルに合わせて英語学習ができるe-ラーニングシステム「ALC NetAcademy NEXT」を導入しています。いつでもどこでも無料で英語学習ができます。

・教養教育修了時に短期海外派遣プログラムを実施

教養教育が終了する3月に、60名程度の学生を選抜し海外の教育機関へ派遣する、学部1年生限定の短期海外派遣プログラムを実施しています。研修費用については大学からの補助もあり、教養教育で身につけた英語力をより向上させるための、実践的な機会を設けています。



●地域や社会のニーズにも対応

・金沢大学との教員養成における共同教育課程の設置

それぞれの大学が持つ強みを組み合わせ、複雑化する現代的教育課題や子どもの成長の各段階に対応できる教員を養成。

・心理学コースの充実（公認心理師養成課程の体制整備）

富山県唯一の公認心理師養成課程の体制を整備。

・地域の薬剤師不足解消のため薬学部薬学科の定員増

薬剤師不足という地域ニーズに応えるため薬学科の定員増を図ったほか、県内高等学校等出身者を対象とした「総合型選抜（地域枠）」を新たに創設し、県内企業や行政と連携した教育を実施し県内への定着を促しています。



人文学部(五福キャンパス)



思想・文化・歴史・言語・社会・心理・文学などに対する多様なアプローチで、人間への理解を深める知的探求の場です。1学科8コースのもとに21の多彩な教育研究分野があり、人間や社会に対する幅広い視野と洞察力、豊かな国際感覚を身につけることができます。日本・中国・欧米のみならずロシア及び朝鮮半島の諸地域について学べるのも本学部の特色です。

(学科) 人文学科



▲上: 現在の人文学部
◀左: 旧制富山高等学校(本学部の前身)

教育学部(五福キャンパス)



金沢大学人間社会学域学校教育学類との共同教員養成課程という、新しい形の教育学部です。小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園の各学校種について、様々な教育課題に的確に対応できる実践的能力を備えた教員を、組織的・計画的に養成します。

(課程) 共同教員養成課程



経済学部(五福キャンパス)



経済、経営、法律を横断的に学べる社会科学系総合学部です。昼間主コースには5つの履修コースがあり、将来の職業を意識しながら、明確な目的意識を持って学ぶことができます。また、働きながら学ぶ社会人等を対象とした夜間主コースも設けられ、多様な学生が学んでいることも特徴です。企業のトップをはじめ、社会で活躍中の実務家による特殊講義も数多く用意されています。

(学科) 経済学科／経営学科／経営法学科
*昼間主コース／夜間主コース



理学部(五福キャンパス)



自然界を律する基本的な原理や法則の探求を使命とする学部です。最先端の研究を通じて、専門知識と問題解決能力を持った人材の育成を目指しています。また、広い視野から問題解決にあたる応用力を育成するため、専攻分野以外の専門基礎分野の履修が必要なカリキュラムとしています。更に、外国人教師による科学英語の講義やeラーニングなど、時代のニーズに応える教育システムの構築にも力を注いでいます。

(学科) 数学科／物理学科／化学科／生物学科／
自然環境科学科



工学部(五福キャンパス)



近年の社会の変革と急激な技術の革新に合わせて、工学教育も多様化、個性化、専門化へと進んでいます。また、工学倫理や生命倫理に基づき、地域社会や国際社会に貢献できる人が強く求められています。これらの観点から、工学部では、広く深い教養と専門的知識の修得はもとより、それらを諸課題に応用できる独創性教育、地球や人間に優しい環境教育、国際社会に対応できる語学や情報教育を重視し、豊かな人間性をもった優秀な研究者・技術者を育成しています。

(学科) 工学科
電気電子工学コース／知能情報工学コース／
機械工学コース／生命工学コース／応用化学コース



都市デザイン学部(五福キャンパス)



都市デザイン学部では、「地球科学」、「都市と交通」、「材料工学」の専門知識に加えて「デザイン思考」と「データサイエンス」を身に付けた、安全・安心な都市の創出と地域創生が可能な人材の育成を目指します。高低差4000mという壮大で美しい自然を有し、海外にも知られる国内トップレベルの先進的な都市づくりを推進している富山を実践フィールドとして、都市デザインに必要な知識と技術を習得していきます。

(学科) 地球システム科学科／都市・交通デザイン学科／
材料デザイン工学科



医学部(杉谷キャンパス)



1975年に富山医科薬科大学医学部として開学し、約半世紀の歴史をもつ医学部となりました。「仁の精神」をもった地域と世界で活躍できる医療人を育成しています。医学、看護学、薬学が同じキャンパスにあることを生かした医薬看合同教育が多数存在し、多職種連携の精神を涵養します。医学科は、国際基準の医学教育を実施しており、国際認証を受けています。看護学科は、科学と人間性の調和を重視した教育を行っています。卒業生は、医師、看護師、保健師、助産師、大学教員など、地域と世界で活躍しています。

(学科) 医学科 / 看護学科



薬学部(杉谷キャンパス)



薬学部は、1893年から薬都富山に根差し、長い歴史と伝統を有しています。4年制の「創薬科学科」では創薬研究者・技術者等の育成、6年制の「薬学科」では薬剤師の育成を主な目的としています。薬学部では、杉谷キャンパス内にある医学部、附属病院、和漢医薬学総合研究所と密な連携のもと、最先端医療と伝統医薬学を理解し、患者様に寄り添う心を身に付けた研究者・技術者・薬剤師など卓越した医療人を養成しています。

(学科) 薬学科 / 創薬科学科



芸術文化学部(高岡キャンパス)



芸術文化学部は、芸術文化に対する感性と幅広い分野の知識・技術を活用し、人間と自然や社会との関わりを見つめ、そこに存在する数々の問題を発見し、解決しようと自発的に行動する意欲的な人材の育成を目的としています。各専門領域の教育を行う一方で、社会環境の変化や地域からの多様なニーズに柔軟に対応できるよう、幅広い教養が身につくカリキュラムと独自の履修システムによる融合教育を行っています。

(学科) 芸術文化学科



教養教育院(五福キャンパス)



教養教育院では、学修の基礎となる幅広い知識、自ら問題を発見し、情報や知識を複眼的、理論的に分析して問題を解決していく力を身に付けられるよう、全学共通の授業科目を提供しています。学部・キャンパスを越えて多様な学生が学び合える学修環境を整え、他者の考えを理解し、自らも情報発信していくコミュニケーション能力を育成します。高い倫理観と使命感を持って社会に貢献できる人材を輩出することを目指します。



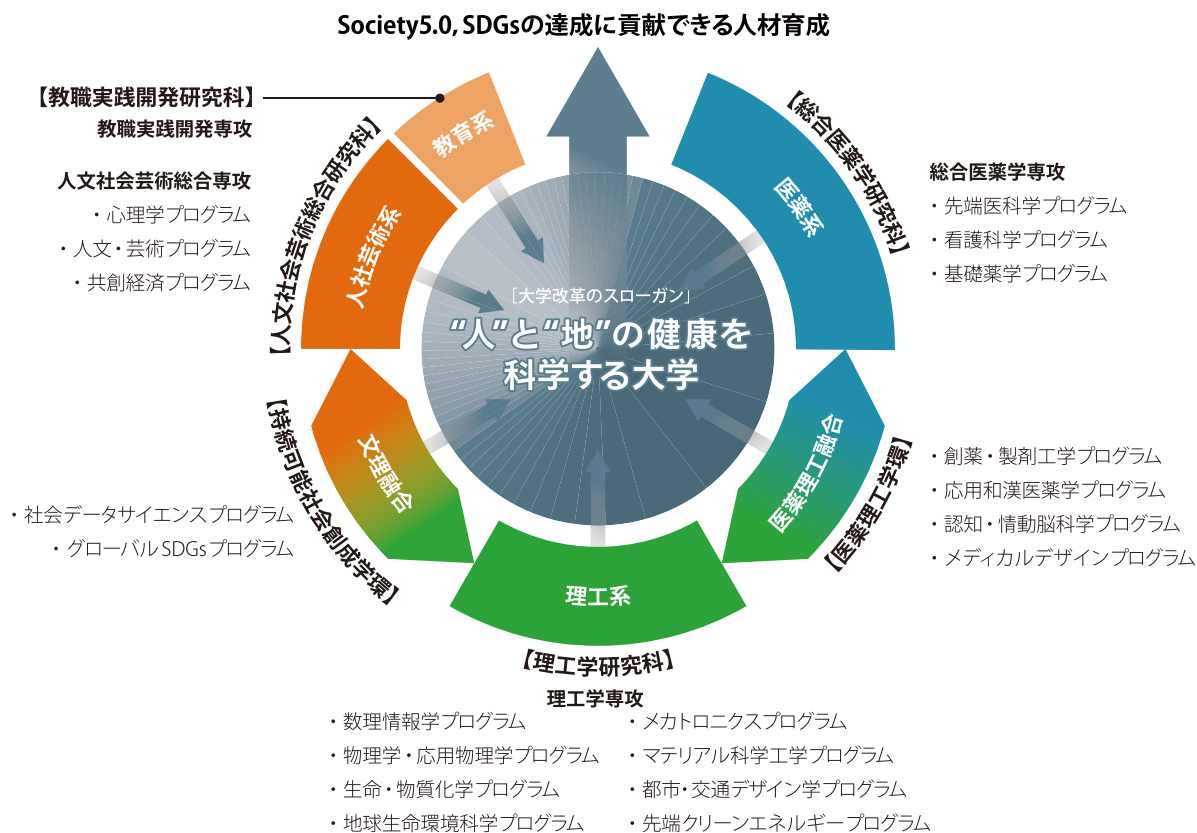
“人”と“地”の健康を科学する大学の実現に向けた大学院改組

修士課程

令和4年4月、大学院修士課程を全面的に改組し、文理融合及び医薬・理工融合の分野横断的な教育研究を推進する体制を構築しました。

《大学院教育における新たな取組》

- ・高度な教養又は基盤的能力を身につけるための大学院共通科目を提供
- ・専門分野の異なる複数の指導教員による指導・助言体制の構築
(客観的かつ異なる専門性の視点に基づく指導・助言体制を確立し、新たな気づきの機会を得ることができます。)



博士課程

大学院博士課程・博士後期課程について、「医学薬学教育部」「理工学教育部」「生命融合科学教育部」を再編し、「総合医薬学研究科」「理工学研究科」「医薬理工学環」への改組を予定しています。

(令和6年4月の設置を構想中)



人文社会芸術総合研究科



人文社会芸術総合研究科は、人文・社会・芸術に関わる諸分野の視点から「人」と「地」の健康を実現します。幅広い分野の基盤的能力を有し、人文、社会、芸術に関わる諸分野についての高度な専門的学識、高い倫理観と豊かな創造力、領域を横断した複眼的視野を備えることにより、新たな価値、文化、社会を創ることができる人材を養成します。

(修士課程)

人文社会芸術総合専攻 心理学プログラム
人文・芸術プログラム
共創経済プログラム

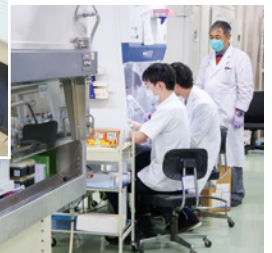


総合医薬学研究科



総合医薬学研究科では、修士課程総合医薬学専攻の下に置く先端医科学プログラム、看護科学プログラム及び基礎薬学プログラムの3プログラムにおいて、医学、薬学及び看護学を総合した特色ある教育と研究を推進し、「医・薬・看」横断的な総合的判断力を有するとともに、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる卓越した医療専門職業人や教育研究者などを育成することを目的としています。

医学・薬学・看護学の密な連携により多職種連携・分野融合を促進する研究科共通科目をはじめとした教育を提供し、学内外との連携を深めることで、実践的なイノベーションに繋がる包括的な医療的素養を身につけることができます。



(修士課程)

総合医薬学専攻 先端医科学プログラム
看護科学プログラム
基礎薬学プログラム

理工学研究科



理工学研究科は、理工学及びその関連分野の学術的な理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識、卓越した能力、及び倫理観を培い、自然科学及び科学技術の発展に寄与することを目的としています。



(修士課程)

理工学専攻 数理情報学プログラム 物理学・応用物理学プログラム
生命・物質化学プログラム 地球生命環境科学プログラム
メカトロニクスプログラム マテリアル科学工学プログラム
都市・交通デザイン学プログラム
先端クリーンエネルギープログラム

持続可能社会創成学環



持続可能社会創成学環は、持続可能な社会の構築に必要な理工学及び社会科学の学際的な理論及び学際的応用を教授研究し、その深奥を学び、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識、卓越した能力及び倫理観を培い、持続可能社会の構築に貢献する人材の育成を目的としています。

(修士課程)

社会データサイエンスプログラム
グローバルSDGsプログラム



医薬理工学環



医薬理工学環では、創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、認知・情動脳科学プログラム、メディカルデザインプログラムの4プログラムにおいて、医学、薬学、理学及び工学を総合した特色ある教育と研究を推進し、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する専門職業人又は教育研究者としての人材を育成することを目的としています。

医薬理工学環共通科目の開設や分野を横断した他の研究室での実験・実習指導や他分野の教員を副指導教員とするシステムを導入することで学生や教員の分野を超えた交流を活性化させ、融合型・分野横断的な教育研究を推進していきます。



(修士課程)

創薬・製剤工学プログラム
応用和漢医薬学プログラム
認知・情動脳科学プログラム
メディカルデザインプログラム

生命融合科学教育部



生命融合科学教育部では、脳神経系を中心とした生命システムの解明からヒトの健康維持・障害支援に関わる物質や機能材料及び情報・機械システムの開発までを視野に入れた先端的な知識と技術を教育し、これからの先端生命科学技術、高齢化福祉・高度医療、生命環境などの社会活動分野において、領域横断的に活躍できる人材を養成することを目的としています。医・薬・理・工という4つの大きな学系が生命科学に結集して教育にあたるのは我が国でも初の試みです。また、障害を持つ学生に開かれた大学院教育を目指し、障害者の視点と感性を導入・共有して新しいスタイルの教育・研究を展開します。

(博士課程)

認知・情動脳科学専攻 生体情報システム科学専攻 先端ナノ・バイオ科学専攻



医学薬学教育部

医学系 ▶



薬学系 ▶



医学薬学教育部では博士課程生命・臨床医学専攻及び東西統合医学専攻、博士後期課程看護学専攻、博士課程薬学専攻及び博士後期課程薬科学専攻の5専攻において最先端の教育研究を行うとともに、医学から薬学にわたる幅広い知識と創造力を基盤とし、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献する特色ある研究教育を通じ、優れた知識・技術・判断力を有する卓越した医療人の育成を行っています。

(博士後期課程)

看護学専攻 薬科学専攻

(博士課程)

生命・臨床医学専攻 東西統合医学専攻 薬学専攻



理工学教育部



理工学教育部では、理学及び工学分野の積極的融合により新たな学際領域、数理・ヒューマンシステム科学、ナノ新機能物質科学、新エネルギー科学及び地球生命環境科学の分野における科学・技術の高度化に対応でき、独創的な研究能力を有する研究者や地域産業の中核的担い手となる高度技術者を育成しています。

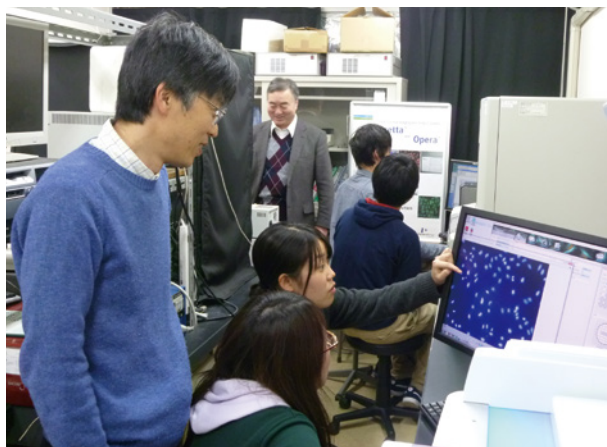
(博士課程)

数理・ヒューマンシステム科学専攻

ナノ新機能物質科学専攻

新エネルギー科学専攻

地球生命環境科学専攻



教職実践開発研究科



教職実践開発研究科は、富山大学と富山県教育委員会の強い連携・協働体制の下、学校現場が抱える今日的教育課題について深く理解し、高度な専門性と実践力、高い課題解決力を備えた、“チーム学校”の牽引役となるスクールリーダーの養成を目指します。

(専門職学位課程)

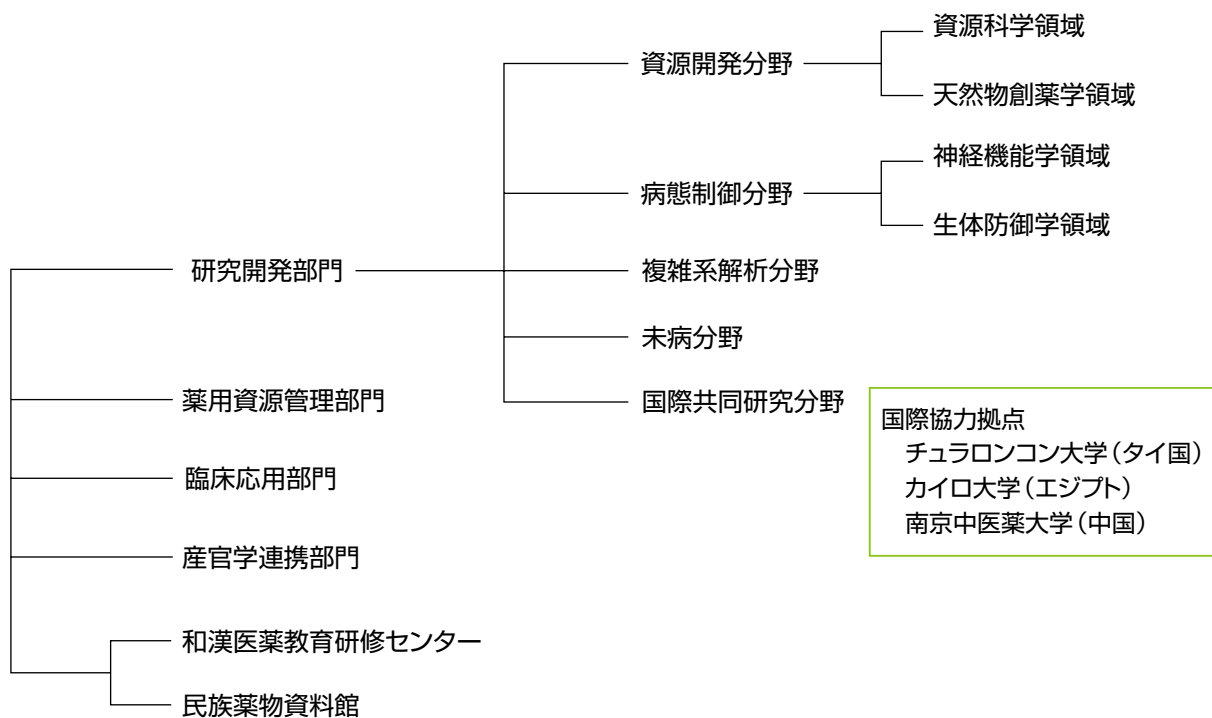
教職実践開発専攻



和漢医薬学総合研究所

伝統医学は人類が自然の摂理と天然の恵みを巧みに利用し、疾病の予防、治療にあたってきた経験知の集積です。和漢医薬学総合研究所は、現代の先端科学技術を駆使して、和漢薬をはじめとする伝統医学や伝統薬物を科学的に研究し、東洋医学と西洋医学の融合を図り、新しい医薬学体系の構築と自然環境の保全を含めた全人的医療の確立に貢献することを使命として、①天然薬物資源の確保と保全、②和漢医薬学の基礎研究の推進と東西医学の融合、③漢方医学における診断治療体系の客観化と人材の育成、④伝統医薬学研究の中核的情報発信拠点の形成の重点課題を設けて、研究を推進しております。

特に、世界的に問題になっている高齢化の進行、多因子性疾患の増加、及び天然資源の枯渇に鑑み、本研究所では令和2年度から重点研究プロジェクト(高齢者疾患対策研究、代謝・免疫疾患対策研究、未病医療・創薬研究及び資源開発研究[令和5年度現在])を推進し、その成果を社会実装することを目指しています。これらの目標を達成するための組織として、研究開発部門として5分野(資源開発、病態制御、複雑系解析、未病、国際共同研究)が連携し、特に臨床研究への橋渡しを目指した基礎研究や新規メカニズムに基づく創薬基盤の構築を目指した研究を行っています。その他の部門として、薬用資源管理部門では、和漢薬をはじめとする伝統薬物や天然薬物などの薬用資源の管理と維持、さらに天然物創薬を指向してこれらを活用した学内外との共同研究を推進しています。臨床応用、産官学連携の2部門では、本学附属病院や企業と協力して臨床試験や医薬品候補の発掘を推進しています。加えて、和漢医薬教育研修センターでは漢方医学教育を実践できる教員の育成とその教育研修システムの確立を目的とした教育研究活動を推進しています。これらの4部門1センターが互いに連携し、東西医学の融合を基盤とした次世代型医療科学を創生して、健康長寿社会の形成に貢献することです。



▲ 脈診



▲ 協定校海外招へい者との協議の様子



▲ 民族薬物資料館見学の様子

附属病院

県内唯一の特定機能病院である附属病院は患者さんに高度医療・最善の医療を提供するとともに、便利で快適な医療環境を提供し、本院の特色でもある東洋と西洋の医療の融合とともに、臨床研究を推進しております。
富山県民から信頼される病院となるよう努力してまいります。

<p>病床数</p>	<p>612床</p> <p>一般病棟566床 (ICU 10床, NICU 12床, GCU 10床, HCU 14床, MFICU 3床, 小児入院医療管理病床28床)</p> <p>精神病床43床 感染症病床3床</p>																																		
<p>診療科</p>	<p>第一内科診療部門, 第二内科診療部門, 第三内科診療部門, 血液内科, 皮膚科診療部門, 小児科診療部門, 神経精神科, こどものこころと発達診療科, 放射線科診療部門, 第一外科診療部門, 第二外科診療部門, 脳神経外科診療部門, 整形外科診療部門, 産科婦人科診療部門, 眼科診療部門, 耳鼻咽喉科診療部門, 泌尿器科診療部門, 麻酔科, 歯科口腔外科診療部門, 和漢診療科, 脳神経内科(神経内科), 感染症科, 救急科, 形成再建外科・美容外科診療部門, リハビリテーション科診療部門, 総合診療科, 病理診断科</p> <p>各診療部門の内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>第一内科診療部門</td> <td>糖尿病代謝・内分泌内科, リウマチ・膠原病内科, 呼吸器内科</td> </tr> <tr> <td>第二内科診療部門</td> <td>循環器内科, 腎・高血圧内科</td> </tr> <tr> <td>第三内科診療部門</td> <td>消化器内科, 炎症性腸疾患内科</td> </tr> <tr> <td>皮膚科診療部門</td> <td>皮膚科, 小児皮膚科</td> </tr> <tr> <td>小児科診療部門</td> <td>小児総合内科, 小児循環器内科, 小児発達神経科</td> </tr> <tr> <td>放射線科診療部門</td> <td>放射線診断科, 放射線治療科</td> </tr> <tr> <td>第一外科診療部門</td> <td>心臓血管外科, 小児循環器外科, 呼吸器外科</td> </tr> <tr> <td>第二外科診療部門</td> <td>消化器外科, 乳腺科・内分泌外科, 小児外科</td> </tr> <tr> <td>脳神経外科診療部門</td> <td>脳神経外科, 脳血管内治療科, 小児神経外科</td> </tr> <tr> <td>整形外科診療部門</td> <td>整形外科, 小児整形外科</td> </tr> <tr> <td>産科婦人科診療部門</td> <td>産科婦人科, 小児婦人科</td> </tr> <tr> <td>眼科診療部門</td> <td>眼科, 小児眼科</td> </tr> <tr> <td>耳鼻咽喉科診療部門</td> <td>耳鼻咽喉科, 小児耳鼻咽喉科</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科診療部門</td> <td>泌尿器科, 小児泌尿器科</td> </tr> <tr> <td>歯科口腔外科診療部門</td> <td>歯科口腔外科(顎口腔外科・特殊歯科), 小児口腔外科</td> </tr> <tr> <td>形成再建外科・美容外科診療部門</td> <td>形成再建外科・美容外科, 小児形成外科</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション科診療部門</td> <td>リハビリテーション科, 小児リハビリテーション科</td> </tr> </table>	第一内科診療部門	糖尿病代謝・内分泌内科, リウマチ・膠原病内科, 呼吸器内科	第二内科診療部門	循環器内科, 腎・高血圧内科	第三内科診療部門	消化器内科, 炎症性腸疾患内科	皮膚科診療部門	皮膚科, 小児皮膚科	小児科診療部門	小児総合内科, 小児循環器内科, 小児発達神経科	放射線科診療部門	放射線診断科, 放射線治療科	第一外科診療部門	心臓血管外科, 小児循環器外科, 呼吸器外科	第二外科診療部門	消化器外科, 乳腺科・内分泌外科, 小児外科	脳神経外科診療部門	脳神経外科, 脳血管内治療科, 小児神経外科	整形外科診療部門	整形外科, 小児整形外科	産科婦人科診療部門	産科婦人科, 小児婦人科	眼科診療部門	眼科, 小児眼科	耳鼻咽喉科診療部門	耳鼻咽喉科, 小児耳鼻咽喉科	泌尿器科診療部門	泌尿器科, 小児泌尿器科	歯科口腔外科診療部門	歯科口腔外科(顎口腔外科・特殊歯科), 小児口腔外科	形成再建外科・美容外科診療部門	形成再建外科・美容外科, 小児形成外科	リハビリテーション科診療部門	リハビリテーション科, 小児リハビリテーション科
第一内科診療部門	糖尿病代謝・内分泌内科, リウマチ・膠原病内科, 呼吸器内科																																		
第二内科診療部門	循環器内科, 腎・高血圧内科																																		
第三内科診療部門	消化器内科, 炎症性腸疾患内科																																		
皮膚科診療部門	皮膚科, 小児皮膚科																																		
小児科診療部門	小児総合内科, 小児循環器内科, 小児発達神経科																																		
放射線科診療部門	放射線診断科, 放射線治療科																																		
第一外科診療部門	心臓血管外科, 小児循環器外科, 呼吸器外科																																		
第二外科診療部門	消化器外科, 乳腺科・内分泌外科, 小児外科																																		
脳神経外科診療部門	脳神経外科, 脳血管内治療科, 小児神経外科																																		
整形外科診療部門	整形外科, 小児整形外科																																		
産科婦人科診療部門	産科婦人科, 小児婦人科																																		
眼科診療部門	眼科, 小児眼科																																		
耳鼻咽喉科診療部門	耳鼻咽喉科, 小児耳鼻咽喉科																																		
泌尿器科診療部門	泌尿器科, 小児泌尿器科																																		
歯科口腔外科診療部門	歯科口腔外科(顎口腔外科・特殊歯科), 小児口腔外科																																		
形成再建外科・美容外科診療部門	形成再建外科・美容外科, 小児形成外科																																		
リハビリテーション科診療部門	リハビリテーション科, 小児リハビリテーション科																																		
<p>中央診療施設等</p>	<p>検査・輸血細胞治療部, 手術部, 放射線部, 材料部, 災害・救命センター, 集中治療部, 医療情報・経営戦略部, 光学医療診療部, 周産母子センター, 病理部, 遺伝子診療部, 循環器センター, 包括的脳卒中センター, 総合感染症センター, 膵臓・胆道センター, 糖尿病センター, 乳がん先端治療・乳房再建センター, ロボット手術センター, リハビリテーション部, 透析部, 医療福祉サポートセンター, 医療安全管理部, 医療の質推進部, 感染制御部, 医療機器管理センター, 栄養部, 臨床研修部, 臨床腫瘍部, 痛みセンター, 再生医療センター, がんゲノム医療推進センター, 看護師特定行為研修センター, 医師のダイバーシティ推進室, 地域医療総合支援センター, データ科学・AI研究推進センター, ジェンダーセンター, こども医療センター, 脳卒中・心臓病等総合支援センター, IBDセンター, 総合がんセンター, 薬剤部, 看護部, 臨床研究管理センター</p>																																		



▲ 医学生や若手医師の教育にも力を注いでいます。



▲ 外来棟 外観



▲ ヘリポート

附属図書館

附属図書館には、中央図書館(五福キャンパス)、医薬学図書館(杉谷キャンパス)、芸術文化図書館(高岡キャンパス)の3つの図書館があります。



▲ 中央図書館



▲ 医薬学図書館



▲ 芸術文化図書館

特殊コレクション

・ヘルン文庫

ラフカディオ・ハーン Lafcadio Hearn (小泉八雲、1850~1904)の旧蔵書。洋書2,069冊、和漢書364冊及び「神國日本」の手書き原稿約1,200枚からなる。旧制富山高校の設立のため多大な寄附をした富山市東岩瀬の馬場はる氏から開校記念式典にお祝いとして寄贈されたもの。

・川合文書

藩政期に砺波郡戸出村(現高岡市戸出)に居住した十村(加賀藩における大庄屋の呼称)、川合家に伝来した文書で、藩政初期から明治に至るまでの農政等に関する記録、3,128点からなる。

・菊池文書

藩政期に砺波郡野尻村(現南砺市野尻)に居住した十村、菊池家に伝来した文書で、藩政初期から明治に至るまでの農政等に関する記録、2,130点からなる。

・鷹栖文庫

旧砺波郡鷹栖村(現砺波市鷹栖)の幕末以降昭和20年代に至る約100年間の村政文書類1,600点からなる。



▲ ヘルン文庫の蔵書棚

蔵書冊数

令和5年3月31日現在

区分	和書	洋書	合計
中央図書館	736,571	314,342	1,050,913
医薬学図書館	117,741	90,624	208,365
芸術文化図書館	55,602	13,295	68,897
合計	909,914	418,261	1,328,175

受入冊数

令和4年度

区分	和書	洋書	合計
中央図書館	6,530	579	7,109
医薬学図書館	1,464	186	1,650
芸術文化図書館	1,198	89	1,287
合計	9,192	854	10,046

雑誌所蔵種類数

令和5年3月31日現在

区分	和雑誌	洋雑誌	合計
中央図書館	12,841	4,795	17,636
医薬学図書館	2,164	2,191	4,355
芸術文化図書館	739	192	931
合計	15,744	7,178	22,922

雑誌受入種類数

令和4年度

区分	和雑誌	洋雑誌	合計
中央図書館	1,357	116	1,473
医薬学図書館	347	16	363
芸術文化図書館	92	25	117
合計	1,796	157	1,953

利用状況

令和4年度

区分	入館者数	貸出冊数			
		学生	教職員	学外者	合計
中央図書館	263,320	43,063	4,491	1,834	49,388
医薬学図書館	209,827	10,493	2,683	778	13,954
芸術文化図書館	4,976	3,511	370	168	4,049
合計	478,123	57,067	7,544	2,780	67,391

電子ジャーナル(利用可能タイトル数)

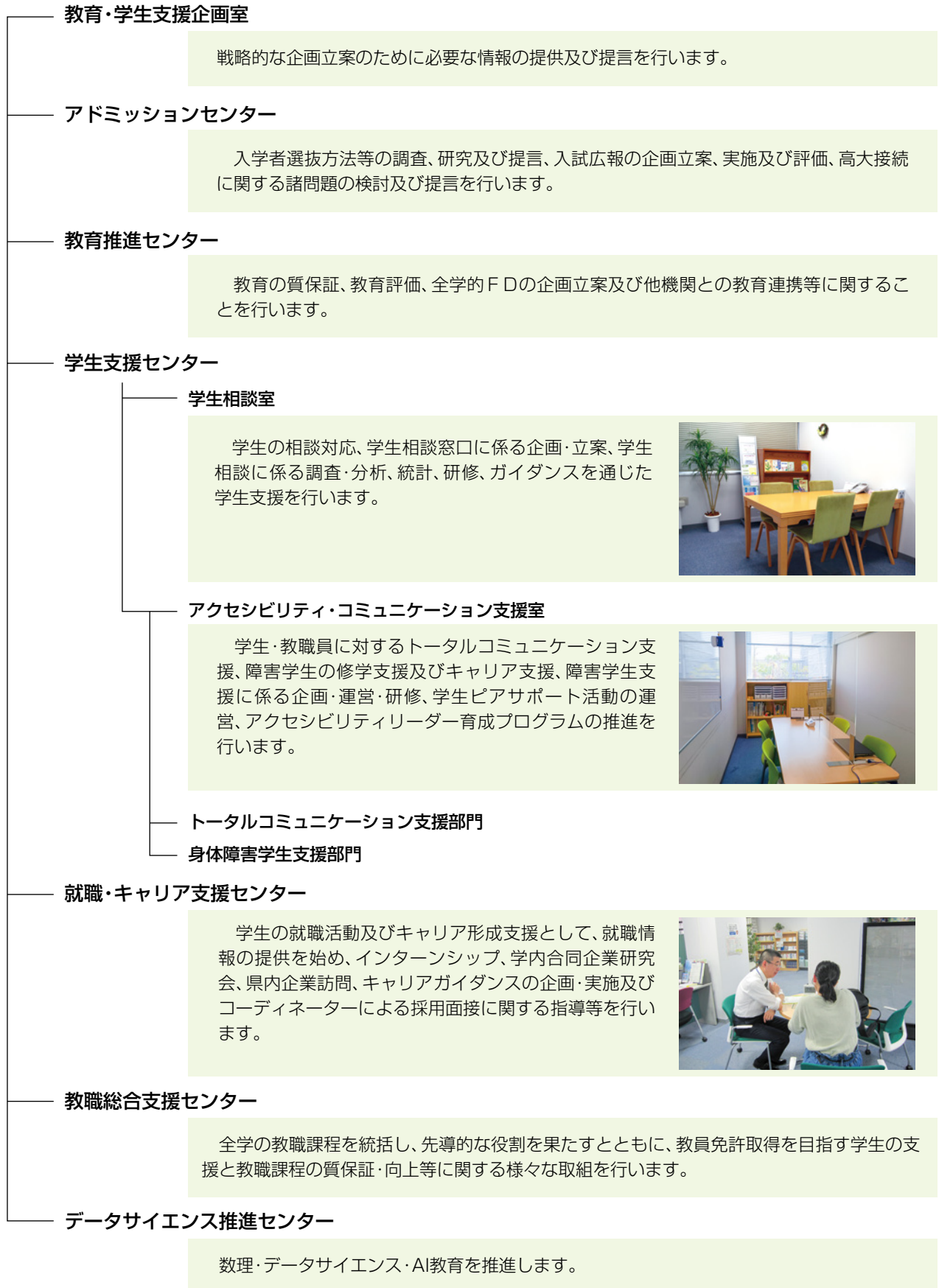
令和4年度

本学で利用可能なタイトル数(純タイトル数)	利用可能タイトル数
中央図書館	15,666
医薬学図書館	15,728
芸術文化図書館	14,093

教育・学生支援機構

本学の理念及び目標の実現に向け、アドミッションポリシーで求める人材の確保、教育の質保証及び学生の充実した修学・生活環境の構築を図るために必要な全学的な施策の推進、調整、支援を行い、もって人材の育成に寄与することを目的としています。

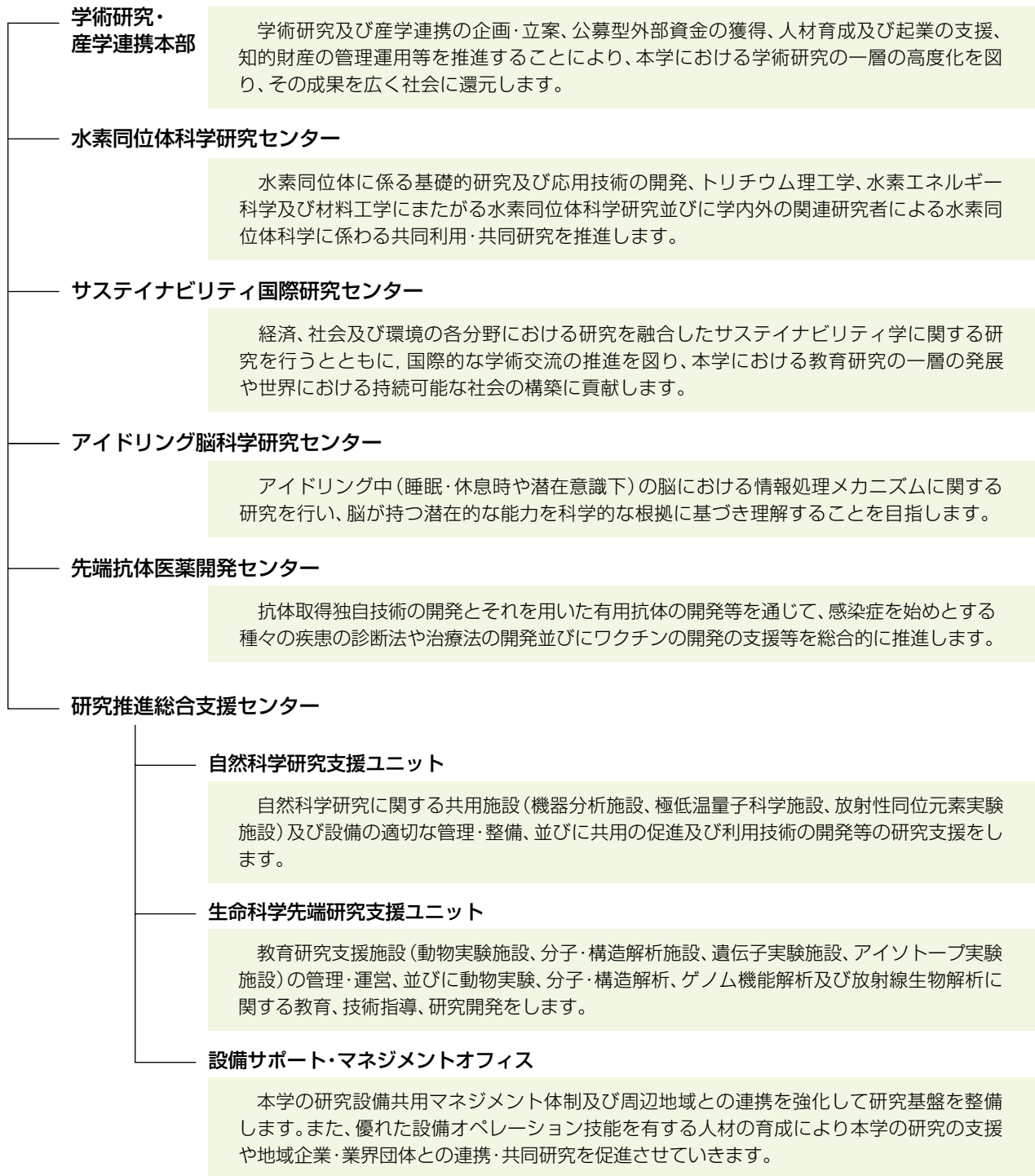
教育・学生支援機構



研究推進機構

本学における特色ある研究の推進と、多様な分野での研究の推進を支援するとともに、世界と地域に向けて研究成果を発信し、将来を担う人材を育成することを目的としています。

研究推進機構



富山市新産業支援センター

医薬バイオ、ナノテク、IT、環境など、今後成長が期待される新産業を育成することを目的に平成19年4月に富山市が富山大学五福キャンパス敷地内に設置しました。

センターでは、研究開発型ベンチャーや創業者、今後事業化を目指す企業等の皆様を支援するためのレンタルラボを設置し、また、多くの支援メニューを備えており、産学官連携・新事業分野への進出を推進しています。

(平成21年4月から、国立大学法人富山大学が指定管理者として管理運営業務を行っております。)



地域連携推進機構

地域社会の自律的発展に貢献するため、社会人教育による市民生活の充実、地域課題解決への先導的役割等を果たすとともに、地域社会と連携する中核拠点としての機能を果たすことを目的としています。

地域連携推進機構

地域連携戦略室

地域連携戦略の企画立案、地方公共団体や民間企業、各種団体と連携した地域振興への企画立案及びコーディネート等、本学の地域連携に関するシンクタンク機能を担います。



▲とやま呉西圏域共創ビジネス研究所修了式

地域づくり・文化支援部門

地域資源を活用した課題解決や人材育成に取り組むとともに、伝統文化や芸術活動にもとづく豊かな地域文化を醸成するための支援を行うことで、地域づくりに貢献します。



▲商業施設の活用をテーマにした特別公開フォーラム

生涯学習部門

富山大学の持つ様々な知識・技術を公開講座やオープン・クラス（正規授業の公開）などを通じて開放し、地域社会の学習環境を豊かにします。あらゆる世代が自然にキャンパスを闊歩する、そんな富山大学の学風を目指します。

富山大学の知的資源を開放することを通して、地域社会における生涯学習の振興と充実に寄与します。



▲生涯学習ワークショップ

地域医療・保健支援部門

地域との連携を推進し、地域医療や地域保健に関する人材育成、調査、研究、情報発信を通じて、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献します。



▲地域包括ケアシステムに関するセミナーの様子

国際機構

本学における国際化に係る事業を統括支援し、本学の国際化を推進することを目的としています。

国際機構

交流部門

学術交流協定の締結や海外研修プログラムの開発等を通して、海外派遣の支援を行います。また、外国人留学生の受入支援、受入プログラムの企画・運営を担当します。

教育部門

主に日本語教育を通して、外国人留学生や海外からの研究者の本学への受入支援を行います。

国際IR・安全保障輸出管理部門

安全保障輸出管理を統括し、外国人留学生の受入れや教職員の海外出張、貨物の輸出に関する必要な学内手続・審査を行います。



▲国際機構棟



▲日本語授業の様子

国際交流会館

国際交流を促進するため、外国人留学生及び外国人研究者用として、国際交流会館が設置されています。



五福国際交流会館

区分	室名	床面積	留学生用	研究者用	計
居室	単身室	16m ²	34	5	39
	夫婦室	39m ²	5	2	7
	家族室	57m ²	1	2	3
	計		40	9	49
共用関係	事務室、多目的室、ランドリー				

杉谷国際交流会館

区分	室名	床面積	留学生用	研究者用	計
居室	単身室	19m ²	18		18
	夫婦室	37m ²	3		3
	家族室	53m ²	4		4
	計		25		25
共用関係	事務室、研修室、ランドリー				

学内共同教育研究施設

名称	業務内容
総合情報基盤センター	<p>情報システムの運用管理、学内外の情報通信、情報システム資源及び情報共有、教育研究等の支援及び関連する研究開発を行っています。</p> 
環境安全推進センター	<p>環境配慮活動及び安全衛生の推進、化学物質管理、排水管理、廃棄物管理、作業環境管理、作業管理及びその指導・助言を行っています。</p> 
自然観察実習センター	<p>農作物栽培や自然観察などの実習や野外活動、ゴマ遺伝資源の系統保存用栽培や農作物を利用する実験など、教育研究の場と材料の提供を行っています。教育研究目的で圃場等が利用できます。</p>

学外との連携による教育研究施設

先進軽金属材料国際研究機構 先進アルミニウム国際研究センター

アルミニウム材料に関する専門的で高度な教育・研究を産官学連携の下で行うセンターです。当センターでは、都市デザイン学部材料デザイン工学科を始め、国内外の関係する機関との協力体制により、材料学の基礎学理から応用研究さらには社会実装研究に至る広範囲な科学と工学が学べます。また、先進軽金属材料国際研究機構の下、熊本大学先進マグネシウム国際研究センターと連携し、グローバルな共同教育を実施します。

連携大学(組織): 熊本大学先進マグネシウム国際研究センター

保健管理センター

学生・教職員の健康保持・増進と保健衛生に関する専門的業務を行う施設です。

保健管理センターには、専任教員（医療や相談を担当）や看護師のほか、カウンセラー等が配置され、健康診断や応急処置から相談事項（健康、精神的な悩み、対人関係など）まで対応します。また、各キャンパスでは、施設の一部を開放しており、各種計測器、トレーニング補助器具、リラクゼーション機器等を利用することができます。



▲ 五福キャンパス



▲ 高岡キャンパス



▲ 杉谷キャンパス(休憩コーナー)

附属学校

附属学校は教育学部附属幼稚園、教育学部附属小学校、教育学部附属中学校、教育学部附属特別支援学校があります。

幼児の保育、義務教育として行われる普通教育又は知的障害に係る特別支援教育を施すとともに、教育学部に附属する教育研究の機関として、学部における幼児、児童及び生徒の保育又は教育に関する研究に協力し、学部の計画に基づき学生の教育実習の実施に当たっています。また、教育の理論と実践についての先進的な研究に取り組み、その成果を公開しています。



令和5年4月1日現在

学部	区分		学級数	学級定員	収容定員
教育学部	幼稚園	3歳児	1	20	20
		4歳児	2	35	70
		5歳児	2	35	70
	小学校	普通学級	12	35	420
	中学校	普通学級	12	40	480
	特別支援学校	小学部	3	6	18
		中学部	3	6	18
		高等部	3	8	24

学部附属教育研究施設

教育学部附属 教育実践実践総合センター

教育実践に関する理論的・実践的研究及び指導を行っています。教師教育、教育相談、教材教具の開発、教員の資質を高める講演会の実施、研究紀要の発刊を行っています。



▲ 臨床と発達の心理学講座の様子

薬学部附属 薬用植物園

薬学部の長い歴史に付随しており、設置100年を迎えます。約2,000種の薬用植物を栽培しており、学術研究および学生教育等に広く貢献しています。学内外の共同研究や一般公開も行っています。



▲ 薬用植物園内の温室

芸術文化学部附属文化財保存・ 新造形技術研究センター(技藝院)

洗練された手仕事の技術と最新のデジタル技術を駆使して、各地の重要な無形・有形の民俗文化財などの保存修復に貢献すると共に、新しい創造的な試みを大学のリソースを横断的に用いて行うことを目的としています。



▲ 3Dスキャナーによる唐津くんち一番曳山「赤獅子」の計測

未病研究センター

未病研究センターは東洋医学の概念である「未病」をALL富山大学で多分野の叡智を集め解き明かし、健康社会に向けた「超早期での疾患予測・予防の実現」を目的に設置されました。

これまで富山大学は、医学部、薬学部、附属病院及び和漢医薬学総合研究所が一体となって、21世紀COEプログラムなどを通して、東西医薬学の融合を実践して来ました。これは現在、複雑系数理学の導入による「未病」の科学的実証を目的とする「未病プロジェクト」に受け継がれています。研究のさらなる発展のため未病研究センターを設立し、以下の3点を中心に未病研究および未病医療を推進して、新たな医療システムを社会に提示し社会実装を目指します。さらに、2021年からは、内閣府・JSTの大型研究開発事業「ムーンショット型研究開発事業」の目標2「2050年までに超早期疾患の予測・予防をすることが出来る社会を実現」に参画し、取り組みを加速化させています。

- ・現代医療ニーズにマッチした最先端の医療戦略(創薬・ヘルスケア、臨床検査・医工学、疫学)の構築
- ・薬都・富山発の健康政策(未病を治療する新しい医療の創出)の提言
- ・科学知への翻訳としての「未病学」の確立



ダイバーシティ推進センター



Center for Diversity and Inclusion
University of Toyama

富山大学
ダイバーシティ推進センター

本学はSDGsの目標でもあるジェンダー平等をより一層推し進め、性別、性的指向と性自認(略称SOGI)、障害の有無、年齢、文化、宗教、信条、国籍などの多様性を尊重し、それぞれが自らの能力を発揮し、皆が生き生きと活躍できる教育・研究・職場環境づくりを進めています。

ダイバーシティ推進センターは、男女共同参画の推進とともに、ライフイベント(妊娠・出産・育児・介護等)やワーク・ライフ・バランスに配慮した様々な支援や啓発活動を行っています。

役員数

令和5年5月1日現在

役員数

区分	学長	理事	監事	合計
役員	1	7 [1]	2 [1]	10 [2]

・ [] 内数字は、理事(非常勤)で内数。
 ・ [] 内数字は、監事(非常勤)で内数。

教職員数

区分	教授	准教授	講師	助教	助手	特命教員等	附属学校教諭	事務系職員	技術系職員	医療系職員	合計
事務局								399 (5)	49 (2)		448
人文科学系	24	14	8			1					47
教育学系	23	23	9								55
附属学校							76 (1)				76
社会科学系	31 [1]	16	3	6 [1]	2						58 [2]
理学系	28	20	9	10		7 (1)					74
都市デザイン学系	27	15		6		6 (2)					54
工学系	36 [1]	27	9	16 [1]		6 (1)					94 [2]
医学系	57 [6]	43 [3]	35	119 [7]	2	52 (3)					308 [16]
薬学・和漢系	27 [2]	18	2	28 [2]		3					78 [4]
芸術文化学系	12	13	8	4		3					40
教養教育学系	8	11	4	1							24
教育研究推進系	6 [1]	14	5			7 (1)					32 [1]
附属病院								2	24 (24)	922 (739)	948
研究推進機構								2	4		6
保健管理センター										4 (4)	4
合計	279 [11]	214 [3]	92	190 [11]	4	85 (8)	76 (1)	403 (5)	77 (26)	926 (743)	2,346 [25]

- ・ [] 内数字は、寄附講座教員・共同研究講座教員で内数。*経済学部所属⇒社会科学系、工学部所属⇒工学系、医学部または附属病院所属⇒医学系、薬学部所属⇒薬学・和漢系、先進軽金属材料国際研究機構所属⇒教育研究推進系へ分類。
- ・ 「特命教員等」欄の()内数字は特別研究教授で内数。
- ・ 「附属学校教諭」欄の()内数字は校長及び園長(附属学校再雇用)で内数。
- ・ 「事務系職員」欄の()内数字は参与及び参事で内数。
- ・ 「技術系職員」欄の()内数字は技能職員で内数。
- ・ 「医療系職員」欄の()内数字は看護師及び助産師で内数。

学部学生の地域別入学状況

令和5年度

学部	地方	北海道	東北	関東	甲信越	北 陸			東海	関西	中国	四国	九州・沖縄	その他	留学生	合計
						富山県	石川県	福井県								
人文学部		7	3	18	33	43	26	15	26	14	2	1	1	1	2	192
教育学部		1	3	2	6	36	20	7	7	3	0	0	0	1	0	86
経済学部	昼間主コース	4	7	6	40	90	81	18	71	13	1	1	1	1	1	335
	夜間主コース	0	2	2	0	21	2	0	5	1	1	0	0	0	0	34
	計	4	9	8	40	111	83	18	76	14	2	1	1	1	1	369
理学部		5	5	32	22	28	24	6	46	18	3	3	8	1	0	201
医学部		0	2	31	25	75	14	5	23	10	0	0	0	1	0	186
薬学部		3	15	15	23	19	2	3	17	5	3	1	1	0	0	107
工学部		7	3	24	46	75	52	8	121	27	6	1	4	2	5	381
芸術文化学部		2	5	8	10	18	23	6	14	13	5	2	5	2	2	115
都市デザイン学部		2	4	19	13	27	25	11	47	13	0	1	1	0	0	163
	合計	31	49	157	218	432	269	79	377	117	21	10	21	9	10	1,800
	割合 (%)	1.7	2.7	8.7	12.1	24.0	14.9	4.4	20.9	6.5	1.2	0.6	1.2	0.5	0.6	100.0
						43.3										
						64.3										

※各地域の数字は出身高等学校の所在地別入学者数を表す
 ※その他：「高等学校卒業程度認定試験合格者」、「外国の学校出身者」

学科・専攻・取得できる学位

学部

学部	学科	取得できる学位
人文学部	人文学科	文学
人間発達科学部	発達教育学科	教育学
	人間環境システム学科	
教育学部	共同教員養成課程	教育学
経済学部	経済学科	経済学
	経営学科	経営学
	経営法学科	法学
理学部	数学科	理学
	物理学科	
	化学科	
	生物学科	
	生物圏環境科学科	
医学部	医学科	医学
	看護学科	看護学
薬学部	薬学科	薬学
	創薬科学科	薬科学
工学部	電気電子システム工学科	工学
	機械知能システム工学科	
	環境応用化学科	
	材料機能工学科	
	工学科	
芸術文化学部	芸術文化学科	芸術文化学
都市デザイン学部	地球システム科学科	理学
	都市・交通デザイン学科	工学
	材料デザイン工学科	工学

大学院

大学院	課程	専攻	取得できる学位		
人文科学研究科	修士課程	人文科学専攻	修士	文学	
人間発達科学研究科	修士課程	発達教育専攻	修士	教育学	
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	修士	経済学	
		企業経営専攻		経営学	
芸術文化学研究科	修士課程	芸術文化学専攻	修士	芸術文化学	
人文社会芸術総合研究科	修士課程	人文社会芸術総合専攻	修士	心理学	
				文学	
				芸術文化学	
				経済学	
総合医薬学研究科	修士課程	総合医薬学専攻	修士	医科学	
				看護学	
				薬科学	
理工学研究科	修士課程	理工学専攻	修士	理学	
				工学	
				理工学	
				数理情報学	
持続可能社会創成学環	修士課程		修士	学術	
				サステイナビリティ学	
医薬理工学環	修士課程		修士	薬科学	
				神経科学	
				医工学	
生命融合科学教育部	博士課程	認知・情動脳科学専攻	博士	医学	
		生体情報システム科学専攻		薬科学	
		先端ナノ・バイオ科学専攻		理学 工学	
医学薬学教育部	修士課程	医科学専攻	修士	医科学	
	博士前期課程	看護学専攻		看護学	
		薬科学専攻		薬科学	
	博士後期課程	看護学専攻	博士	看護学	
		薬科学専攻		薬科学	
	博士課程	生命・臨床医学専攻		博士	医学
		東西統合医学専攻			
		薬学専攻	薬学		
理工学教育部	修士課程	生物学専攻	修士	理学	
		地球科学専攻			
		生物圏環境科学専攻			
		電気電子システム工学専攻			
		知能情報工学専攻			
		生命工学専攻			
		環境応用化学専攻			
	材料機能工学専攻				
	博士課程	数理・ヒューマンシステム科学専攻	博士	理学 工学	
		ナノ新機能物質科学専攻			
新エネルギー科学専攻					
地球生命環境科学専攻					
教職実践開発研究科	専門職学位課程	教職実践開発専攻	教職修士(専門職)		

外国人留学生数

令和5年5月1日現在

区分	国費			県費			外国政府			私費			合計			
	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	
学部	人文学部		2	2		1	1		1	8	4	12	9	7	16	
	人間発達科学部						1		1	2		2	3		3	
	教育学部		3	3							10	10		13	13	
	経済学部						1		1	7	10	17	8	10	18	
	理学部									1		1	1		1	
	医学部															
	薬学部															
	工学部							9		9	19	2	21	28	2	30
	芸術文化学部	4		4							1	4	5	5	4	9
	都市デザイン学部										6	1	7	6	1	7
小計	4	5	9	0	1	1	12	0	12	44	31	75	60	37	97	
大学院(修士前期)	人文科学研究科															
	人間発達科学研究科															
	経済学研究科									4		4	4		4	
	芸術文化学研究科															
	医学薬学教育部									1		1	1		1	
	理工学教育部(理学系)									1		1	1		1	
	理工学教育部(工学系)									2	2	4	2	2	4	
	人文社会芸術総合研究科(人文系)									4	1	5	4	1	5	
	人文社会芸術総合研究科(芸術系)															
	人文社会芸術総合研究科(経済系)	1		1							26		26	27		27
	総合医薬学研究科	2		2							3		3	5		5
	理工学研究科(理学系)	1		1							1		1	2		2
	理工学研究科(工学系)										18		18	18		18
	理工学研究科(都市デザイン学系)	6		6							4		4	10		10
	持続可能社会創成学環	3		3							6		6	9		9
医薬理工学環(工学系)										1		1	1		1	
医薬理工学環(医薬系)										4		4	4		4	
小計	13	0	13	0	0	0	0	0	0	75	3	78	88	3	91	
大学院(博士後期)	生命融合科学教育部(五福)	1		1						2		2	3		3	
	生命融合科学教育部(杉谷)	1		1						13		13	14		14	
	医学薬学教育部	2		2						29		29	31		31	
	理工学教育部(理学系)									4		4	4		4	
	理工学教育部(工学系)	1		1						48	2	50	49	2	51	
小計	5	0	5	0	0	0	0	0	0	96	2	98	101	2	103	
和漢医薬学総合研究所																
国際機構		3	3										3		3	
合計	22	8	30	0	1	1	12	0	12	215	36	251	249	45	294	

国・地域別外国人留学生数

国・地域名	種別				計
	国費	県費	外国政府	私費	
中国				168	168
ベトナム	6			20	26
マレーシア	1		12	7	20
パキスタン	1			11	12
オランダ				9	9
インドネシア	5			2	7
韓国				7	7
台湾				5	5
バングラデシュ	2			3	5
ブラジル	4	1			5
インド				4	4
エジプト				3	3
ミャンマー	1			2	3
イラン				2	2
モンゴル				2	2
ロシア	1			1	2

国・地域名	種別				計
	国費	県費	外国政府	私費	
アメリカ				1	1
英国	1				1
カメルーン	1				1
キルギス	1				1
ケニア	1				1
シンガポール				1	1
タイ				1	1
ナイジェリア	1				1
バブアニューギニア	1				1
フィリピン	1				1
フィンランド				1	1
ベルギー				1	1
メキシコ	1				1
ラオス	1				1
計 30 国・地域	30	1	12	251	294

卒業・修了者の進路状況(令和4年度)

令和5年5月1日現在

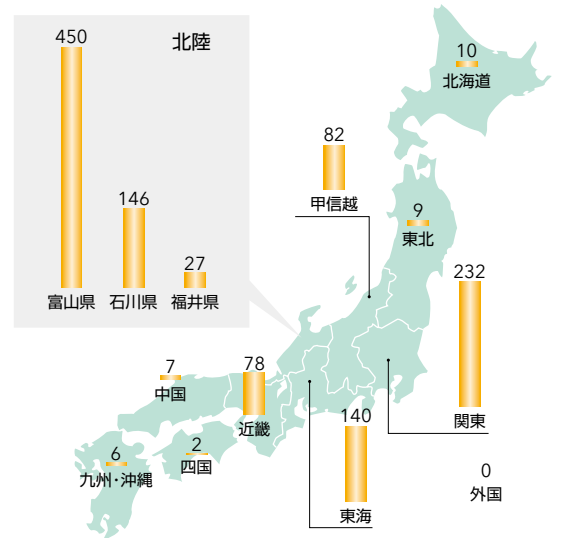
学部

学部	卒業生数	就職者数	進学者数		その他 (注2)
			大学院(注1)	その他	
人文学部	165	143	2 (1)	3	17
人間発達科学部	172	154	8 (6)	2	8
経済学部	340	313	4 (1)	0	23
理学部	179	79	80 (65)	4	16
医学部	195	192	0 (0)	2	1
薬学部	113	61	49 (46)	1	2
工学部	348	121	220 (206)	1	6
都市デザイン学部	140	57	80 (72)	1	2
芸術文化学部	103	69	9 (7)	1	24
合計	1,755	1,189	452 (404)	15	99

(注1) ()内の数字は、富山大学大学院への進学者で内数。
(注2) その他欄には有職者を含む。

地域別就職状況(学部)

学部	地方				東海・北陸				近畿	中国	四国	九州・沖縄	外国	合計
	北海道	東北	関東	甲信越										
					富山県	石川県	福井県	東海						
人文学部	4	1	26	14	54	19	10	11	3	1				143
人間発達科学部		1	15	4	78	33	4	13	3	1	2			154
経済学部	2	1	62	28	111	43	7	37	19	2		1		313
理学部		1	17	6	26	14	1	9	4	1				79
医学部	1	1	36	14	89	8	1	22	19			1		192
薬学部	2	2	17	5	16			7	8	2		2		61
工学部			31	7	39	11	2	23	7			1		121
都市デザイン学部	1		13	1	12	7	2	12	8			1		57
芸術文化学部		2	15	3	25	11		6	7					69
合計	10	9	232	82	450	146	27	140	78	7	2	6	0	1,189
割合(%)	0.8	0.7	19.5	6.9	37.8	12.3	2.3	11.8	6.6	0.6	0.2	0.5	0.0	100.0
					64.2									



業種別就職状況(学部)

業種	学 部		人文学部			人間発達科学部			経済学部			理学部			医学部			薬学部			工学部			都市デザイン学部			芸術文化学部			合計			割合 (%)			
	性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計								
農業、林業									1	1																										
漁業																																			0.0	
鉱業、採石業、砂利採取業																																		0.0		
建設業		1	5	6	2	2	4	12	6	18	6	2	8								6	2	8	12	2	14	5	12	17	44	31	75	6.3			
製造業		7	11	18	3	8	11	16	26	42	9	7	16								4	1	5	47	12	59	9	10	19	2	13	15	97	88	185	15.6
電気・ガス・熱供給・水道業								2	2												3	3										5	5	0.4		
情報通信業		6	5	11	3	11	14	29	18	47	11	1	12									21	4	25	4	3	7	1	5	6	75	47	122	10.3		
運輸業、郵便業		1		1	1		1	3	2	5	2	2									1	1	3	1	4		2	2	11	5	16	1.3				
卸売業、小売業		5	18	23	5	5	10	22	11	33	5	1	6								16	18	34		1	1	1	1	5	5	54	59	113	9.5		
金融業、保険業		3	15	18	4	8	12	30	18	48	5	5									2	2	4				1	1	45	43	88	7.4				
不動産業、物品賃貸業		1	3	4				3	5	8	2	2												1	1	3	1	4	10	9	19	1.6				
学術研究、専門・技術サービス業					1	1	2	6	1	7	1	1									5	1	6	2	2	4		4	4	15	9	24	2.0			
宿泊業、飲食サービス業		1	1	2				1	1	2		1	1												1	1	1	1	2	5	7	0.6				
生活関連サービス業、娯楽業		3	3	1		1	3	3	1	1	2																1	1	5	5	10	0.8				
教育、学習支援業		4	5	9	24	34	58	2	1	3	9	6	15											1	1		2	2	40	48	88	7.4				
医療、福祉		3	4	7		7	7	5	2	7											85	97	182	8	12	20		1	101	123	224	18.8				
複合サービス事業			2	2				4	2	6	1	1																	5	4	9	0.8				
サービス業		6	11	17	4	2	6	8	11	19	1	3	4								1	1	8	1	9	1	1	1	8	9	30	36	66	5.6		
公務		7	15	22	9	19	28	37	25	62	4	4									10	10		1	1	4	1	5	4	1	65	72	137	11.5		
その他																														0	0	0	0.0			
合計		45	98	143	57	97	154	183	130	313	57	22	79	85	107	192	29	32	61	97	24	121	38	19	57	13	56	69	604	585	1,189	100.0				

卒業・修了者の進路状況(令和4年度)

令和5年5月1日現在

大学院(修士課程・博士前期課程・専門職学位課程)

研究科等	修了者数	就職者数	進学者数		その他 (注2)
			大学院(注1)	その他	
人文科学研究科	6	1	1 (0)	1	3
人間発達科学研究科	10	4	3 (1)	0	3
経済学研究科	19	5	2 (0)	0	12
芸術文化科学研究科	10	7	0 (0)	0	3
医学薬学教育部	56	35	13 (12)	0	8
理工学教育部	295	263	24 (23)	0	8
理工学研究科	1	0	1 (1)	0	0
教職実践開発研究科	16	6	0 (0)	0	10
合計	413	321	44 (37)	1	47

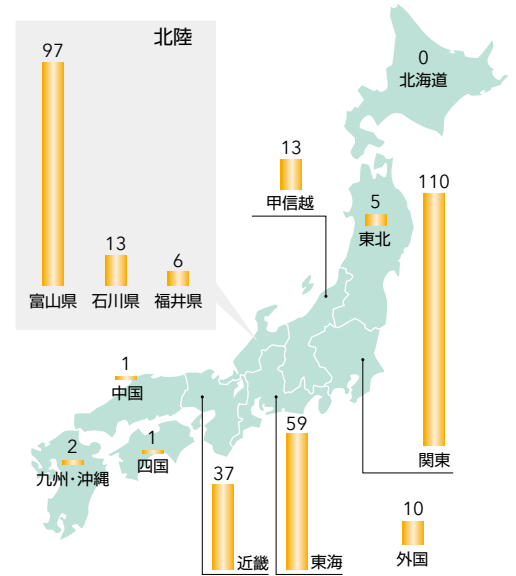
大学院(博士課程・博士後期課程)

研究科等	修了者数	就職者数	進学者数		その他 (注2)
			大学院(注1)	その他	
生命融合科学教育部	12	10	0 (0)	0	2
医学薬学教育部	28	13	0 (0)	0	15
理工学教育部	16	10	0 (0)	0	6
合計	56	33	0 (0)	0	23

(注1) ()内の数字は、富山大学大学院への進学者で内数。
(注2) その他欄には有職者を含む。

地域別就職状況(大学院)

研究科等	地方											合計					
	北海道	東北	関東	甲信越	東海・北陸				近畿	中国	四国		九州	沖縄	外国		
修士課程 博士前期課程 専門職学位課程	人文科学研究科				1												1
	人間発達科学研究科				1		1			2							4
	経済学研究科			3												2	5
	芸術文化科学研究科			2		3	1			1							7
	医学薬学教育部		1	15	2	8			3	4			2				35
	理工学教育部		2	87	9	68	9	5	55	27		1					263
	理工学研究科																0
	教職実践開発研究科					5		1									6
博士課程 博士後期課程	生命融合科学教育部					3	2		1							4	10
	医学薬学教育部		1	1		6			3							2	13
	理工学教育部		1	2		4			1							2	10
合計	0	5	110	13	97	13	6	59	37	1	1	2	10	354			
割合(%)	0.0	1.4	31.1	3.7	27.4	3.7	1.7	16.6	10.4	0.3	0.3	0.6	2.8	100.0			
					49.4												



業種別就職状況(大学院)

業種	性別	修士課程・博士前期課程・専門職学位課程														博士課程・博士後期課程						合計			割合 (%)										
		人文科学研究科		人間発達科学研究科		経済学研究科		芸術文化科学研究科		医学薬学教育部		理工学教育部		教職実践開発研究科		生命融合科学教育部		医学薬学教育部		理工学教育部		男	女	計											
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					計									
農業、林業																									0	0	0	0.0							
漁業																										0	0	0	0.0						
鉱業、採石業、砂利採取業																										0	0	0	0.0						
建設業							1	1	3		3						14	2	16							17	3	20	5.6						
製造業				1	1		1	1								14	9	23	151	19	170				3	3	1	1	2	170	30	200	56.5		
電気・ガス・熱供給・水道業																	10		10							10	0	10	2.8						
情報通信業						1	1	2		2	2						35	5	40							1	1	36	9	45	12.7				
運輸業、郵便業																	3		3							3	0	3	0.8						
卸売業、小売業																	2		2							2	0	2	0.6						
金融業、保険業							1	1											1	1						0	2	2	0.6						
不動産業、物品賃貸業																										0	0	0	0.0						
学術研究、専門・技術サービス業	1									2	3	5		4	2	6									1	1	1	1	7	7	14	4.0			
宿泊業、飲食サービス業																											0	0	0	0.0					
生活関連サービス業、娯楽業																	1		1							1	0	1	0.3						
教育、学習支援業				1	1					2	2			3	1	4	3	3	6	8	8	4	3	7	5	1	6	24	10	34	9.6				
医療、福祉				1	1								2	1	3											1	1	2	2	2	5	3	8	2.3	
複合サービス事業																											0	0	0	0.0					
サービス業				1	1					1	1	2		6		6										7	2	9	2.5						
公務											1	1	3	2	5											3	3	6	1.7						
その他																										0	0	0	0.0						
合計		1	0	0	2	2	4	1	4	5	3	4	7	19	16	35	232	31	263	3	3	6	9	1	10	9	4	13	6	4	10	285	69	354	100.0

大学教育再生戦略推進費等採択状況

医療データ人材育成拠点形成事業

採択年度	取組名称	連携大学
令和元年(～令和5年)	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業	富山大学、東京大学、筑波大学、自治医科大学

※ 代表校 東京大学

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

採択年度	取組名称	連携大学
令和2年(～令和6年)	地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」	富山大学、金沢大学、信州大学

※ 事業責任大学 信州大学

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

採択年度	取組名称
令和4年(～令和11年)	臨床医学と社会医学を駆使して地域を守る医療人の養成

医学部等教育・働き方改革支援事業

採択年度	取組名称
令和4年(～令和5年)	医学部等教育・働き方改革支援事業

数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進

採択年度	取組名称
令和4年(～令和9年)	地方創生・SDGs達成を通じた数理・データサイエンス・AI教育の普及・展開(特定分野校:理工農学)

共同研究講座

設置部局名	講座・研究部門名	設置期間	教育研究の概要
工学部	先端電力システム(北陸電力)共同研究講座	平成31年 4月 1日～ 令和 6年 3月31日	電力系統工学の諸課題の研究並びに電力系統工学に通じた人材の育成を図るため、電力系統工学の理論、計画・運用する理論並びに解析手法理論及び再生可能エネルギーの大量普及を可能とする電力系統対策に関する研究を行う。
先進軽金属材料国際研究機構 先進アルミニウム国際研究センター	アルミリサイクルと押出加工の革新研究共同研究講座	令和 4年 8月 1日～ 令和 6年 7月31日	富山大学が有するアルミ基礎的研究資源と三協立山株式会社が有する製造技術資源を融合し、単独では困難な研究課題に果敢にチャレンジすることで、新たなシナジーを生み出し、カーボンニュートラルへの礎を築くとともに、社会変化に資する研究成果の実現を目的とする。
医学部	医療機器イノベーション共同研究講座	令和 5年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	医学部との産学連携の成果を元に、中耳加圧装置の長期治療の有効性の検証、効果的な治療のための頭部膜迷路模型製作、IRカメラ画像による眼球運動解析装置等の研究を行うと同時に、外科的手術動画を記録し、耳鼻咽喉科領域疾患の診断、治療に役立つ医療機器の開発研究を行う。

寄附講座・寄附研究部門

設置部局名	講座・研究部門名	設置期間	教育研究の概要
薬学部	製剤設計学講座	平成27年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	製剤設計学講座は富山県の製薬産業を牽引する先導的な研究拠点として、製剤開発に関する最先端研究を推進し、地域のさらなる活性化に貢献する。また、基礎科学と実学が融合した卓越した研究プロジェクトを通して、富山県の医薬品業界を担う有能で魅力的な製剤研究者・技術者の養成に努める。
附属病院	地域医療総合支援学講座	平成29年 4月 1日～ 令和 8年 3月31日	富山県内で活躍する医師のキャリアアップ及び人材育成支援を推進するとともに、専門医資格取得のための支援体制を確立し、富山県の医療を充実させ、質の向上を図る。また、県内の地域医療に関する課題を検証し、公的病院が抱える医師偏在の状況を把握し、医療派遣問題の解決に向け調査・研究を行う。
附属病院	朝日・地域医療支援学講座	平成31年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	朝日地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、朝日地域における臨床研修医に対する研修体制及び研究環境の整備・充実を図り、専門医及び総合医の育成を図るための育成教育プログラムを作成し、あさひ総合病院においてプログラムに基づく人材育成を行う。
附属病院	糸魚川・地域医療支援学講座	平成31年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	糸魚川地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、糸魚川総合病院における診療体制の充実を図り、上越地域における臨床研修医に対する研修体制、研究環境の整備・充実、専門医及び総合医の育成を図る。
医学部	消化器がん診断・治療学推進講座	令和2年 4月 1日～ 令和6年 3月31日	消化器がん診療、特に内視鏡・超音波・血管カテーテル等を用いた低侵襲治療、薬物療法における高度な専門知識・技術の地域間格差を解消するために、地域拠点病院における診療の指導を行い、さらに新たな診断・治療の開発を目指すことを目的とする。
医学部	臨床生体材料応用講座	令和2年 4月 1日～ 令和6年 3月31日	再生医学講座で開発を進めてきた羊膜を利用した医療機器や羊膜由来細胞の実用化にむけた技術開発を行い、新たな再生医療材料の普及に大きく寄与することを目的とする。
経済学部	データサイエンス寄附講座	令和3年 4月 1日～ 令和7年 3月31日	地域の行政、産業界からの課題を、寄附講座の教員と学生がデータサイエンスを基に解析し、解決策を「商品」として提示することにより、地域貢献に寄与する。また、地域の行政、産業界からの実践的な課題を教材として学習することにより、優秀なデータサイエンティストを養成することを目的とする。
附属病院	上市・地域医療支援学講座	令和3年 4月 1日～ 令和6年 3月31日	上市地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、将来に向けた地域包括ケアを担う医療人材の育成やかみいち総合病院との病院機能の分化を踏まえた患者の紹介・逆紹介の円滑化を図る。
薬学部	医薬品品質保証・評価学講座	令和4年 4月 1日～ 令和9年 3月31日	医薬品の適正製造基準やデータサイエンスに精通した人材養成のための実践教育等の遂行および県内製薬企業の医薬品の製造管理・品質管理等に貢献することを目的とする。
附属病院	こどものこころと発達診療学講座	令和4年 4月 1日～ 令和9年 3月31日	次世代を担う子どもたちの命と健康を守るため、富山県においてこどものこころや発達の診療を継続的かつ安定的に提供できる体制を構築することを目的とし、「こどものこころと発達診療」に関して、専門医やメディカルスタッフの育成、県内の医療機関におけるプライマリケアのスキルアップ・連携強化および拠点として専門的医療を担う。

附属病院診療実績

(1) 患者数

単位:人

区分 年度	入院患者数		病床稼働率 (612床)	外来患者数		救急患者数			
	年間(延数)	1日平均		年間(延数)	1日平均	年間(延数)	1次救急	2次救急	3次救急
令和2年度	168,867	462.6	75.60%	307,264	1,269.1	3,568	1,662	1,304	602
令和3年度	173,291	474.8	77.60%	316,770	1,308.8	4,004	1,975	1,265	761
令和4年度	176,346	483.1	78.99%	308,369	1,268.4	4,256	2,123	1,260	873

(2) 地域別入院及び外来患者数

新入院患者数

単位:人

区分 年度	富山県	石川県	新潟県	岐阜県	長野県	その他	合計
令和2年度	11,941	155	442	501	12	243	13,294
令和3年度	12,380	166	520	578	16	218	13,878
令和4年度	12,700	172	562	668	28	199	14,329

外来患者延数

単位:人

区分 年度	富山県	石川県	新潟県	岐阜県	長野県	その他	合計
令和2年度	289,754	3,164	5,359	6,321	130	2,536	307,264
令和3年度	298,207	3,115	5,601	7,069	239	2,539	316,770
令和4年度	290,331	2,884	5,760	6,812	289	2,293	308,369

(3) 手術及び麻酔件数

単位:件

区分 年度	手術件数								麻酔件数		
	0~999点	1,000~2,999点	3,000~4,999点	5,000~9,999点	10,000~14,999点	15,000~19,999点	20,000点以上	計	0~999点	1,000点以上	計
令和2年度	1,398	1,856	1,074	1,260	2,506	1,008	4,516	13,618	5,619	5,978	11,597
令和3年度	1,556	1,803	1,087	1,221	2,429	1,077	4,875	14,048	6,195	6,247	12,442
令和4年度	1,582	1,728	1,064	1,339	2,675	955	5,070	14,413	6,304	6,769	13,073

※手術は、医科Kコードまたは歯科Jコードを算定した件数。麻酔は、医科Lコードまたは歯科Kコードを算定した件数。

(4) 分娩件数

単位:人

区分 年度	正常分娩		異常分娩		計
	成熟児	低出生体重児	成熟児	低出生体重児	
令和2年度	223	49	149	61	482
令和3年度	170	34	114	73	391
令和4年度	156	27	114	79	376

※低出生体重児 2,500g未満

(5) 処方箋発行枚数

単位:枚

区分 年度	入院	外来		計	院外処方箋 発行率 B/(A+B)%
		院内 A	院外 B		
令和2年度	90,512	9,609	140,755	240,876	93.61%
令和3年度	96,314	9,960	145,585	251,859	93.60%
令和4年度	98,292	10,079	146,385	254,756	93.56%

(6) 画像診断件数

単位:件

区分 年度	CT			MRI			PET		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
令和2年度	7,903	17,735	25,638	3,002	7,333	10,335	46	1,579	1,625
令和3年度	8,238	18,609	26,847	2,835	8,279	11,114	41	1,606	1,647
令和4年度	8,035	18,531	26,566	3,143	8,029	11,172	46	1,519	1,565

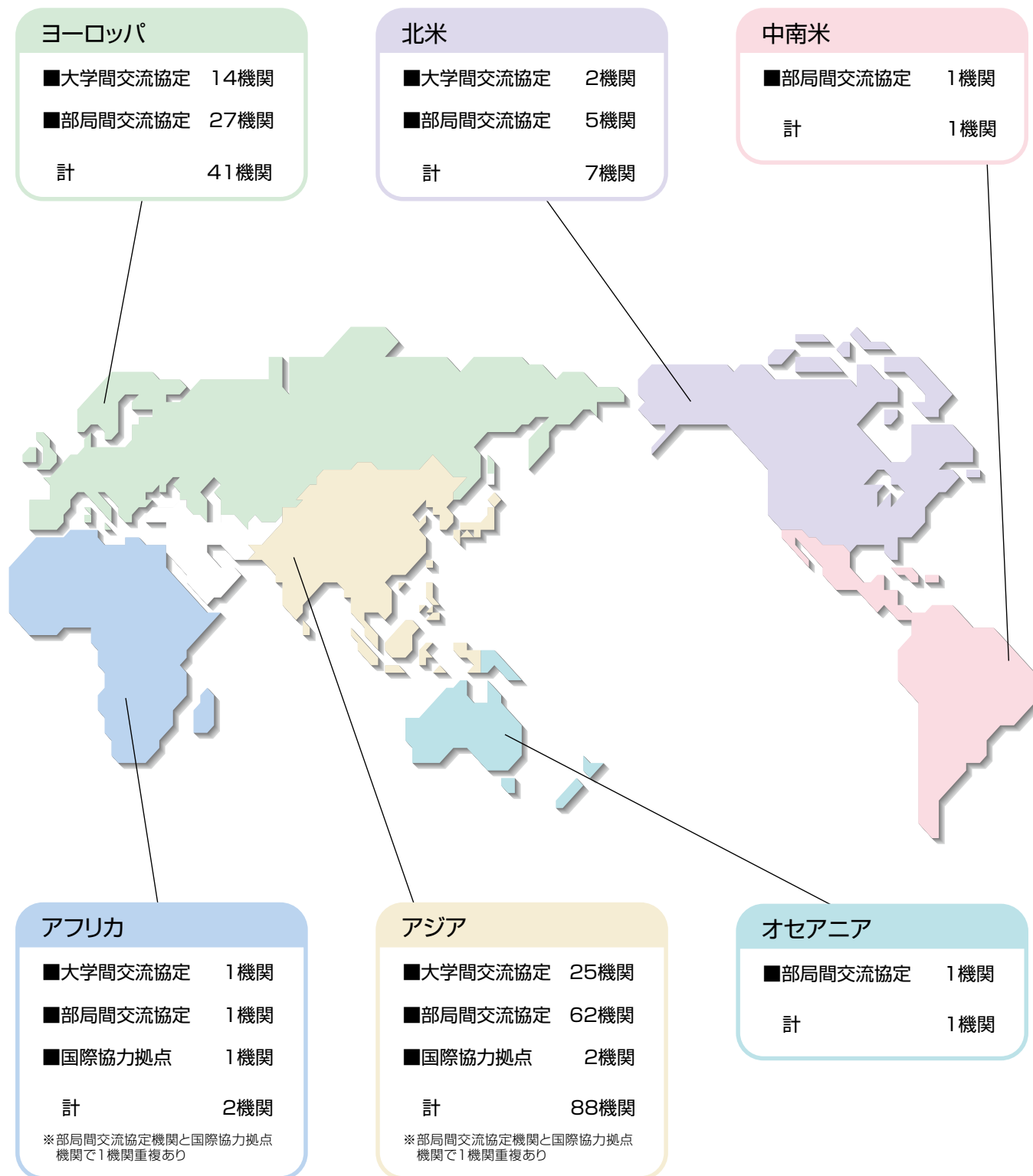
(7) 紹介患者数

単位:人

区分 年度	初診患者数	書面による紹介患者数		その他		救急用自動車によって 搬入された 紹介患者数	うち、 初診の患者	書面による その他の医療機関 への紹介患者数	紹介率	逆紹介率
		病院からの 紹介	診療所(医院) からの紹介	電話番号及び 医師の名刺等 による紹介	精密検査を 必要とし書面 による紹介					
令和2年度	13,361	4,682	4,735	0	466	1,529	917	9,092	80.83%	68.05%
令和3年度	14,414	5,059	4,924	2	484	2,038	1,248	9,427	81.28%	65.40%
令和4年度	14,918	5,165	5,174	1	497	2,276	1,281	10,436	81.23%	69.96%

国際交流

■大学間交流協定	19カ国・地域42機関		
■部局間交流協定	26カ国・地域97機関		
■国際協力拠点	3カ国 3機関	総数	32カ国140機関



大学間交流協定 (19カ国・地域42機関42協定)

国・地域名	大学等名	協定年月日	国・地域名	大学等名	協定年月日
インドネシア	ハサヌディン大学	2002.3.27 (2012.7.5 再締結)	中国	上海大学	2002.6.28 (2017.11.2 再締結)
韓国	大邱韓医大学校	2004.10.7		東北大学	2005.9.12
	国民大学校	2005.3.7	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	2022.12.9
	江原大学校	2016.12.16	ベトナム	軍医大学	2011.10.24
	慶北大学校	2017.3.14		ハノイ工科大学	2017.2.27
タイ	チュラロンコン大学	2001.3.30 (2008.3.28 再締結)	マレーシア	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	2016.2.1
	マヒドン大学	2001.7.30 (2012.10.30 再締結)	エジプト	アシュート大学	2003.2.2 (2008.7.19 再締結)
	チェンマイ大学	2015.11.17	アメリカ合衆国	マーレイ州立大学	2005.9.20
台湾	国立政治大学	2014.4.14		チャールストンカレッジ	2017.2.20 (2020.7.8 再締結)
	銘傳大学	2015.3.21	イタリア	トリノ工科大学	2021.1.13
	国立中央大学	2016.10.19		カメリーノ大学	2022.2.28
中国	遼寧大学	1984.5.9 (2023.3.14 再締結)	オランダ	ライデン大学メディカルセンター	2022.3.21
	瀋陽薬科大学	1985.5.10 (2011.11.10 再締結)	スイス	バーゼル大学	2018.3.20 (2021.3.29 再締結)
	中日友好医院	1986.5.7 (2012.12.7 再締結)	スロバキア	ジリナ大学	2015.10.20
	北京大学医学部	1998.1.23		コシツェ工科大学	2015.11.19
	大連理工科大学	1999.11.11 (2004.10.18 再締結)	ノルウェー	UiTノルウェー北極大学	2016.2.11 (2021.4.6 再締結)
	蘭州大学	1999.11.12 (2004.10.9 再締結)		ノルウェー科学技術大学	2019.2.26
	内蒙古医科大学	2001.7.20 (2012.7.25 再締結)	フィンランド	LAB応用科学大学	1997.11.5 (2008.3.25 再締結)
	山東大学	2002.4.1 (2016.9.8 再締結)	フランス	オルレアン大学	2015.3.4 (2020.9.7 再締結)
				ストラスブール大学	2019.3.25
		ポーランド	AGH科学技術大学	2015.10.23	
		ロシア	極東連邦大学	2001.12.10	
			ノヴォシビルスク大学	2017.10.16	

部局間交流協定 (26カ国・地域97機関97協定)

学部等名	国・地域名	大学等名	協定年月日
人文学部	ベトナム	ハノイ国家大学外国語大学	2015.12.22
		ベトナム社会科学院漢喃研究院	2017.3.1
	ロシア	モスクワ言語大学	2013.3.22
教育学部	インドネシア	ウダヤナ大学文化学部	2007.8.22
		ピナ・ヌサンタラ大学人文学部	2007.10.15
	タイ	コンケン大学教育学部	2015.2.18
	オランダ	ライデン大学人文学部	2016.12.15
	スペイン	マドリード自治大学教育学部	2017.9.15 (2022.2.7 再締結)
	ロシア	ウラジオストク・ネヴェリスキー海軍国立大学	2003.3.27
教育学部附属小学校	韓国	ソウル慶熙大学校併設初等学校	2004.3.22
	中国	大連海事大学附属学校	2005.3.22
教育学部附属中学校	中国	遼寧省阜新市実験中学校	2001.8.2
経済学部	韓国	国立釜山大学校スクール・オブ・ビジネス及び経営特殊大学院	2014.10.17 (2019.11.22 再締結)
		京畿大学校経商学部	2016.4.19
		京畿大学校人文社会学部	2016.4.19

学部等名	国・地域名	大学等名	協定年月日
経済学部	台湾	開南大学商学院	2013.6.25
		開南大学人文社会学院	2013.6.25
	中国	中国人民大学公共管理学院	1996.12.10(2004.10.9 再締結)
		西南交通大学交通運輸与物流学院	2007.8.20(2011.10.30 修正)
		中南林業科技大学経済学院	2009.6.25(2011.2.11 修正)
		南開大学日本研究院	2013.3.15
		内蒙古大学経済管理学院	2013.8.1
中南林業科技大学商学院	2016.11.28		
理学部	インドネシア	パランカラヤ大学農学部	2013.7.31
	バングラデシュ	ジャハンギルナガル大学数物系科学部	2013.4.2
	マレーシア	モナッシュ大学医学健康科学部	2016.7.20
	チェコ	西ボヘミア大学新技術研究センター	2019.9.27
	ドイツ	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン 化学・薬学部化学科	2018.11.16
	フランス	レンヌ第一大学物質構造物性学部	2018.11.27
医学部	韓国	忠南大学校医科大学	2006.1.12(2021.7.30 再締結)
		亜州大学医学部・大学院	2007.10.24
	中国	重慶医科大学	2006.3.15(2016.12.10 再締結)
		ハルビン医科大学	2011.5.13(2016.12.20 再締結)
		威海市立病院	2019.11.28
	ベトナム	ハノイ医科大学	2013.6.27(2019.2.15 再締結)
	モンゴル	モンゴル国立医科大学	2010.6.7(2015.6.7 再締結)
	ブラジル	ブラジリア大学生物学研究所	2010.11.15(2015.10.21 再締結)
	アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校ジョンA.バーンズ医学部	2011.11.16(2019.2.27 再締結)
	英国	ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ「社会と健康」国際研究センター	2004.9.8
ドイツ	ルール大学ボーフム医学部附属バートユーンハウゼン心臓・糖尿病センター胸部・心臓血管外科	2014.8.26	
薬学部	韓国	慶熙大学校薬学大学	2012.2.10
	アメリカ合衆国	南カリフォルニア大学薬学部	2000.4(2021.10.12 再締結)
		アメリカ健康科学大学薬学部	2020.2.4
	アイルランド	ダブリン大学トリニティカレッジ薬学部	2010.6.28
工学部	中国	大連交通大学	2005.2.25
		西南交通大学牽引動力国家重点実験室	2005.2.25
	バングラデシュ	ラジシャヒ工科大学	2018.2.28
	マレーシア	マラ工科大学機械工学部	2013.2.22
		トゥン フセイン オン マレーシア大学電気電子工学部	2018.5.11
	アメリカ合衆国	バージニア大学工学・応用科学部	1999.12.8(2004.6.23 再締結)
	アルバニア	ティラナ工科大学機械工学部	2013.2.15
	チェコ	チェコ共和国科学アカデミー科学機器研究所	2003.11.10
	ポーランド	ワルシャワ工科大学電子情報工学部	2015.10.26
ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部自動制御プロセス研究所	2003.12.22	
芸術文化学部	タイ	パタナシン芸術大学	2012.1.19
	スウェーデン	カペラゴードン美術工芸学校	2009.5.20(2012.9.25 修正)
	チェコ	プラハ美術工芸大学	2008.12.15(2012.8.8 修正)
都市デザイン学部	中国	石油大学(北京)理学院	2015.1.20
		昌吉学院物理系	2016.7.26
	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ大学キャンベラキャンパスオーストラリア防衛大学校理学部	2002.12.2(2012.10.23 再締結)
	アメリカ合衆国	アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター	2019.3.18
	オーストリア	ウィーン工科大学土木工学部	2019.10.30
	ポーランド	ポーランド科学アカデミー冶金・材料科学研究所	2013.9.23
ヴロツワフ科学技術大学環境工学部		2016.11.21	

学部等名	国・地域名	大学等名	協定年月日
和漢医薬学総合研究所	インドネシア	カジャマダ大学薬学部	2022.11.2
	韓国	ソウル大学校薬学大学天然物科学研究所	1998.10.1 (2016.11.8 再締結)
		世明大学校保健バイオ大学	2019.4.23
	タイ	コンケン大学薬学部	2003.11.14 (2021.7.20 再締結)
		ウボンラーチャタニ大学薬学部	2017.1.25
	台湾	国立嘉義大学生命科学院	2016.5.19
	中国	南京中医薬大学薬学院	2002.10.27 (2012.8.16 再締結)
		広西中医薬大学薬学院	2018.5.15
	ベトナム	国立薬物研究所	2009.10.27 (2014.11.7 再締結)
		フエ大学医学薬学部	2014.6.3
		ホーチミン医科薬科大学伝統医学部	2018.7.9
		カントー大学自然科学部	2018.8.27
	ミャンマー	ヤンゴン大学化学部	2016.2.15 (2020.12.30 再締結)
		保健・スポーツ省伝統医療局	2016.11.15
モンゴル	モンゴル国立大学応用科学工学部	2004.3.30 (2012.9.21 再締結)	
エジプト	カイロ大学薬学部	2001.6.18 (2011.4.27 再締結)	
サステナビリティ 国際研究センター	中国	吉林大学東北アジア研究院	2003.6.18
		中国農業大学経済管理学院	2003.7.1
		中国科学院江西省千煙州紅壤丘陵総合開発試験站	2004.2.20
		吉林農業大学経済管理学院	2004.3.1
		復旦大学中国社会主义市場経済研究センター	2005.6.12
		東北財経大学 経済・社会発展研究院	2006.6.15
	中国科学院長白山森林生態系研究ステーション	2007.2.8	
	ロシア	ロシア科学アカデミーシベリア支部経済工業生産組織研究所	2003.7.3
		ハカシア国立大学	2003.10.29
		ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所	2004.7.9
		ロシア科学アカデミー社会政治研究所社会人口学・経済社会学センター	2010.3.16
		極東国立農業大学	2011.7.15
		ロシア科学アカデミー極東支部地質・自然管理研究所	2012.8.17
		サンクトペテルブルク国立経済大学グレーターユーラシア研究所	2019.2.27
韓国		韓国核融合エネルギー研究所 ITER 韓国	2014.11.17 (2019.10.29 再締結)
ロシア	サンクトペテルブルク・ボンシェプリイエビッチ通信大学	2002.12.18	

国際協力拠点 (3カ国3機関3拠点)

拠点レベル	相手国	拠点名称	相手機関	締結年月日
富山大学	タイ	富山大学・チュラロンコン大学薬学部：天然薬物における国際協力拠点	チュラロンコン大学薬学部	2010.12.7
		チュラロンコン大学薬学部・富山大学：天然薬物における国際協力拠点		
和漢医薬学総合研究所	中国	富山大学和漢医薬学総合研究所・南京中医薬大学薬学院：国際協力拠点	南京中医薬大学薬学院	2006.11.4 (2012.8.16 再締結)
		南京中医薬大学薬学院・富山大学和漢医薬学総合研究所：国際協力拠点		
和漢医薬学総合研究所	エジプト	富山大学和漢医薬学総合研究所・カイロ大学薬学部：国際協力拠点オフィス	カイロ大学薬学部	2011.4.27
		カイロ大学薬学部・富山大学和漢医薬学総合研究所：国際協力拠点オフィス		

自治体等との連携協力に関する協定

全学協定

自治体

相手	名称	締結年月日
富山県	富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定	平成17年11月1日
富山市	富山市新産業支援事業に関する協定	平成18年6月29日
高岡市	災害時における施設等の使用に関する協定	平成19年12月1日
富山市	富山市と国立大学法人富山大学との連携協力に関する包括協定	平成20年10月21日
魚津市	魚津市と富山大学との連携協力に関する包括協定	平成23年10月27日
高岡市	高岡市と富山大学との連携協力に関する包括協定	平成23年11月28日

国の機関等

相手	名称	締結年月日
国土交通省北陸地方整備局	国立大学法人富山大学と国土交通省北陸地方整備局との連携・協力に関する協定	平成26年2月13日

文部科学省関係機関

相手	名称	締結年月日
自然科学研究機構 核融合科学研究所	大学共同利用機関法人自然科学研究機構核融合科学研究所と国立大学法人富山大学の間における水素同位体の取扱い等の研究等に係る連携・協力に関する基本協定	平成19年3月14日
金沢大学 北陸先端科学技術大学院大学 福井大学	北陸地区国立大学学術研究連携事業に関する協定	平成22年1月28日
東京大学宇宙線研究所	国立大学法人東京大学宇宙線研究所と国立大学法人富山大学との重力波研究推進	令和2年4月6日
熊本大学	国立大学法人熊本大学と国立大学法人富山大学との先進軽金属材料国際研究機構の設置及び運営に関する協定	令和3年3月15日
長野県、石川県、福井県 信州大学、金沢大学	長野県、富山県及び石川県における雇用創出・若者定着に関する協定	令和3年2月20日

金融機関

相手	名称	締結年月日
北陸銀行	国立大学法人富山大学と株式会社北陸銀行との包括的連携協力	平成17年3月23日
富山第一銀行	国立大学法人富山大学と株式会社富山第一銀行との包括的連携協力	平成17年12月1日
富山銀行	国立大学法人富山大学と株式会社富山銀行との包括的連携協力	平成17年12月1日
日本政策金融公庫 富山支店	産学連携の協力推進に係る協定	平成19年2月8日
高岡信用金庫	産学連携の協力推進に係る協定	平成20年2月21日

報道機関

相手	名称	締結年月日
(株)北日本新聞社	国立大学法人富山大学と株式会社北日本新聞社との包括連携協力に関する協定	平成26年11月21日
富山テレビ放送(株)	国立大学法人富山大学と富山テレビ放送株式会社との包括連携協力に関する協定	平成26年12月9日
(株)読売新聞東京本社	国立大学法人富山大学と株式会社読売新聞東京本社との包括連携協力に関する協定	平成27年3月25日

その他

相手	名称	締結年月日
小杉高等学校	富山大学と小杉高等学校との高大連携事業	平成21年4月10日
モンゴル科学技術大学 名古屋大学 (株)ジオ・コミュニケーションズ	モンゴル国における地質構造・鉱床成因・自然環境解析、人材育成及び地質情報の基盤整備のための日本・モンゴル間の包括的な連携・協力に関する協定	平成23年6月16日
富山地方鉄道(株)	国立大学法人富山大学と富山地方鉄道(株)との地域交通振興に関する連携協定	平成24年9月21日
国際ロータリー第2610地区	国立大学法人富山大学と国際ロータリー第2610地区との海外派遣事業	平成26年5月25日
一般社団法人 立山黒部ジオパーク協会	国立大学法人富山大学と一般社団法人立山黒部ジオパーク協会との連携・協力に関する協定	令和2年12月1日
一般社団法人日本アルミニウム協会 熊本大学 先進軽金属材料国際研究機構	一般社団法人日本アルミニウム協会と熊本大学および富山大学で編成する先進軽金属材料国際研究機構との包括的連携協力に関する協定	令和4年6月17日
一般社団法人日本マグネシウム協会 熊本大学 先進軽金属材料国際研究機構	一般社団法人日本マグネシウム協会と熊本大学および富山大学で編成する先進軽金属材料国際研究機構との包括的連携協力に関する協定	令和4年6月17日
一般社団法人日本チタン協会 熊本大学 先進軽金属材料国際研究機構	一般社団法人日本チタン協会と熊本大学および富山大学で編成する先進軽金属材料国際研究機構との包括的連携協力に関する協定	令和4年6月17日

部局協定

相手	部局名	名称	締結年月日
砺波市	人文学部	砺波市と富山大学人文学部との連携に関する協定	平成29年11月21日
富山県警察	教育学部	学校と警察の連携による「児童生徒健全育成連絡制度」に関する協定	令和5年3月10日
富山県教育委員会	教育学部	富山県教育委員会と国立大学法人富山大学教育学部との連携協力	令和4年6月17日
富山県教育委員会	教職実践開発研究科	富山大学教職大学院に係る連携協定	平成27年3月3日
日本証券業協会	経済学部	日本証券業協会と富山大学経済学部との連携に関する協定	令和3年9月10日
氷見市	理学部	氷見市と国立大学法人富山大学理学部との連携に関する協定	平成23年3月30日
独立行政法人水資源機構 総合技術センター	都市デザイン学部	国立大学法人富山大学都市デザイン学部と独立行政法人水資源機構 総合技術センターとの間における包括的な連携推進に関する協定	平成30年6月25日
株式会社富山市民プラザ	都市デザイン学部	富山大学都市デザイン学部と株式会社富山市民プラザにおける包括連携協定	令和3年8月4日
株式会社 能作 オタヤ開発 株式会社 株式会社 大和高岡店 高岡市デザイン・工芸センター	芸術文化学部	やさしい・いもの プロジェクトに係る連携協力	平成30年4月17日
高岡市	芸術文化学部	高岡市と国立大学法人富山大学芸術文化学部との連携に関する協定	平成19年11月9日
富山県後期高齢者医療広域連合	附属病院	富山大学附属病院と富山県後期高齢者医療広域連合における連携協定	令和5年4月1日
朝日町	附属病院	富山大学附属病院と朝日町における連携協定	令和5年4月1日
上市町	附属病院	富山大学附属病院と上市町における連携協定	令和5年4月1日
舟橋村	地域づくり・文化 支援センター … ※	富山県舟橋村と国立大学法人富山大学地域づくり・文化支援センターに おける地域づくりに関する協定	平成20年2月15日
和歌山県田辺市	地域連携推進機構	田辺市と国立大学法人富山大学地域連携推進機構との人材育成連携	平成28年1月29日
舟橋村 一般社団法人富山県緑化造園土木協会 一般社団法人日本造園建設業協会富山県支部 一般社団法人日本造園組合連合会富山県支部	地域連携推進機構	舟橋村における「公共空間の整備・利用による子育てコミュニティづくり」 に係る連携協力	平成29年1月20日
学校法人荒井学園 魚津市	地域連携推進機構	新川創生プロジェクト「地域に残り、地域を支える若者育成」に係る連携 協力	平成29年6月9日
南砺市	地域連携推進機構	“南砺で暮らしませんか!”プロジェクトに係る連携協力	平成29年7月21日
中日本高速道路株式会社 金沢支社	地域連携推進機構	“沿道地域との連携による新たな価値創造”プロジェクトに係る連携協力	平成29年9月6日
熊本大学熊本創生機構	地域連携推進機構	富山大学地域連携推進機構と熊本大学熊本創生推進機構との連携	令和3年9月28日
全国企業振興センター 富山県商工労働部	地域連携推進機構	「富山”Re-Design”ラボ”コンソーシアムの組成に向けた連携に 関する協定	令和3年12月16日
一般社団法人 富山県アルミ産業協会	先進アルミニウム 国際研究センター	一般社団法人富山県アルミ産業協会と富山大学先進アルミニウム 国際研究センターとの包括的連携協力に関する協定	令和4年10月28日

※・・・平成20年度地域連携推進機構に統合

公開講座等の実績(令和4年度)

公開講座

多様なテーマと形態で
市民一般を対象に開催

ジャンル別講座数と受講者数

講座内容	教 養	語 学	実 践	合 計
講座数	41	9	15	65
受講者数	237	57	97	391



オープン・クラス

富山大学が開設している
正規授業を市民一般に公開

公開授業科目数と受講者数

学 期	前学期	後学期	合 計
科目数	500	466	966
受講者数	60	68	128



財務状況

令和3事業年度 貸借対照表の概要

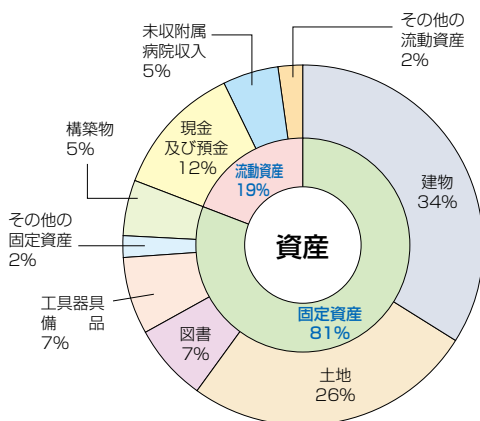
令和4年3月31日

(単位:千円)

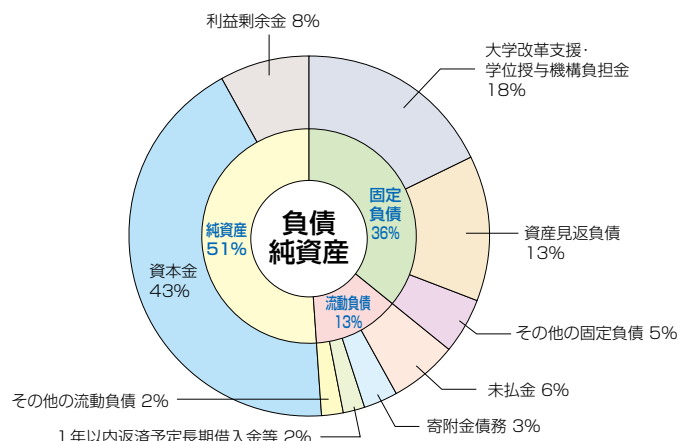
資産の部	
科目	金額
固定資産	69,737,784
有形固定資産	65,771,067
土地	22,591,767
建物(建物附属設備を含む)	62,064,523
減価償却累計額	△32,794,346
構築物	4,264,562
減価償却累計額	△2,743,827
減損損失累計額	△1,039
1,519,695	
工具器具備品	28,255,878
減価償却累計額	△22,228,812
6,027,066	
図書	6,145,715
その他の有形固定資産	320,633
減価償却累計額	△103,987
216,646	
無形固定資産	2,555,838
投資その他の資産	1,410,878
流動資産	16,179,720
現金及び預金	10,050,620
未収学生納付金収入	151,293
未収附属病院収入	4,721,881
徴収不能引当金	△33,986
4,687,895	
その他未収入金	672,398
有価証券	300,072
たな卸資産	16,704
医薬品及び診療材料	196,290
その他の流動資産	104,444
資産合計	85,917,504

負債及び純資産の部	
科目	金額
固定負債	31,190,927
資産見返負債	11,463,423
長期リース債務	2,752,278
大学改革支援・学位授与機構債務負担金	60,454
長期借入金	15,451,345
退職給付引当金	1,173,433
その他の固定負債	289,992
流動負債	10,726,209
寄附金債務	2,815,548
短期リース債務	833,867
前受受託研究費	304,733
前受共同研究費	119,224
前受受託事業費等	63,231
預り金等	406,230
一年以内返済予定長期借入金等	1,302,907
未払金	4,786,248
その他の流動負債	94,218
負債合計	41,917,137
資本金	39,953,982
政府出資金	39,953,982
資本剰余金	△2,555,893
資本剰余金	21,862,688
損益外減価償却累計額(一)	△24,417,542
損益外減損損失累計額(一)	△1,039
利益剰余金	6,602,278
前中期目標期間繰越積立金	1,618,404
目的積立金	830,778
積立金	1,037,892
当期末処分利益	3,115,202
(うち当期総利益)	(3,115,202)
純資産合計	44,000,367
負債・純資産合計	85,917,504

■資産の科目別割合 資産総額 85,917,504千円



■負債・純資産の科目別割合 負債総額 41,917,137千円 純資産総額 44,000,367千円



令和3事業年度 損益計算書の概要

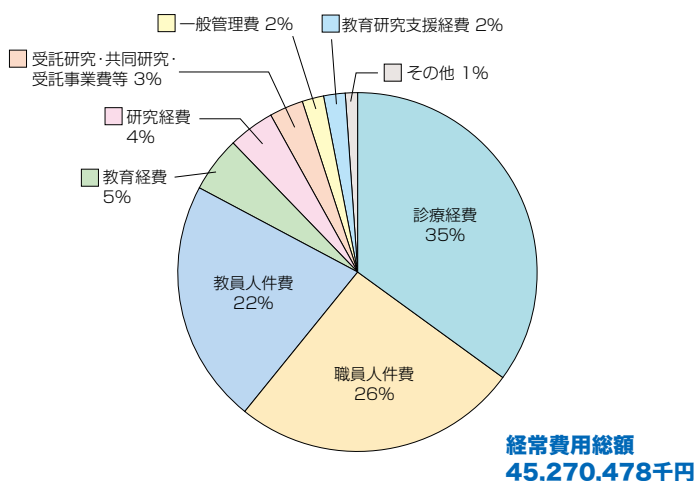
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:千円)

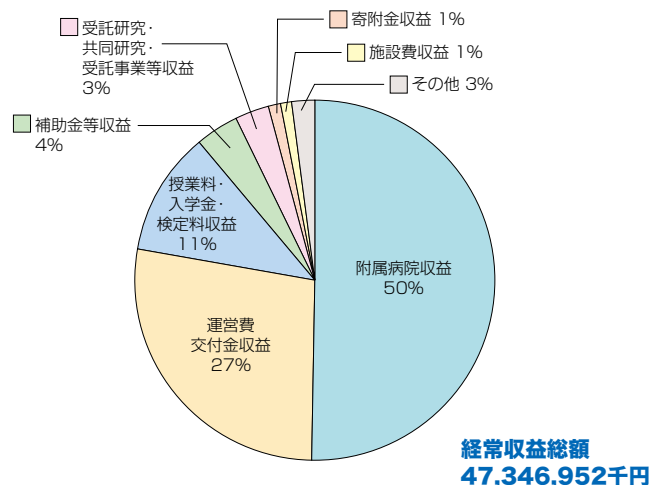
費用	
科目	金額
経常費用	45,270,478
業務費	
教育経費	2,217,316
研究経費	2,108,408
診療経費	15,601,247
教育研究支援経費	940,242
受託研究費	735,864
共同研究費	281,046
受託事業費等	402,090
役員人件費	133,536
教員人件費	9,963,460
職員人件費	11,771,539
一般管理費	1,049,653
財務費用	62,684
雑損	3,385
臨時損失	14,624
固定資産除却損	7,824
損害賠償金・和解金	6,800
当期総利益	3,115,202
合計	48,400,304

収益	
科目	金額
経常収益	47,346,952
運営費交付金収益	12,846,259
授業料収益	4,229,574
入学金収益	670,955
検定料収益	153,844
附属病院収益	23,501,938
受託研究収益	707,516
共同研究収益	281,707
受託事業等収益	401,703
施設費収益	494,899
補助金等収益	2,026,087
寄附金収益	618,546
資産見返負債戻入	923,468
雑益	490,451
臨時利益	395,933
運営費交付金収益	321,197
固定資産売却益	11
固定資産除却に伴う資産見返負債戻入	6,073
保険金収益	68,650
目的積立金取崩額	657,418
合計	48,400,304

■経常費用の科目別割合



■経常収益の科目別割合



科学研究費助成事業(科研費)等の受入状況

科学研究費助成事業(科研費)

令和5年3月現在

研究種目	令和3年度		令和4年度	
	採択件数*	交付金額(千円)**	採択件数*	交付金額(千円)**
特別推進研究	1	101,400	1	95,810
新学術領域研究	6	12,480	3	6,760
学術変革領域研究	2	31,810	3	36,760
基盤研究(S)	0	0	0	0
基盤研究(A)	5	65,835	4	38,220
基盤研究(B)	55	263,410	68	351,807
基盤研究(C)	247	299,432	246	294,256
挑戦的研究	14	44,590	13	35,880
若手研究・若手研究(B)	67	81,351	69	94,897
研究活動スタート支援	11	15,182	15	19,890
奨励研究	2	883	1	400
特別研究員奨励費	6	6,990	14	13,274
国際共同研究強化	6	32,110	7	20,826
合計	422	955,473	444	1,008,780

※継続課題含む。
 ※※間接経費含む。

共同研究・寄附金・受託研究

令和5年3月現在

区分	令和3年度		令和4年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
共同研究	271	314,214	253	337,476
寄附金	811	900,012	812	850,798
受託研究	203	902,548	195	920,922
合計	1,285	2,116,774	1,260	2,109,196

学生の厚生施設

学生会館

室名	面積 (m ²)	収容人員 (人)	用途
ラウンジ	574	137	休憩・談話・キャンパスコンビニ・その他
ホール	318	156	講演・演奏・その他
多目的利用室 No.3-5	90	36	集会
和室	40	15	茶道・華道等
課外活動室A	30	—	課外活動
課外活動室B	30	—	課外活動
印刷室	7	—	印刷

食堂等

名称	室名	面積 (m ²)	名称	室名	面積 (m ²)
五福キャンパス (大学食堂)	食堂	1,311	(学生支援・地域 連携交流プラザ)	カフェラウンジ	269
	購買・書籍部	404			
	理髪室	46			
	事務室・その他	579			
(第2大学食堂) ※工学部構内	食堂	657	杉谷キャンパス	食堂・売店	916
	購買・書籍部	184		理容室	30
	談話コーナー	35		談話室	155
	事務室・その他	425	高岡キャンパス	食堂・売店	203

学生寮

名称	所在地	入寮定員 (人)		
新樹寮	富山市寺町2639-1	A棟	SIタイプ:約13m ²	95
		B棟		51
		C棟		59
		D棟		67
		E棟	SIタイプ:約20m ²	30
		DIタイプ:約25m ²	6	



▲学生会館



▲学生寮

土地・建物、部局等所在地

区分	棟名称	土地 (m ²)	建物面積 (m ²)	所在地
五福キャンパス	共通教育棟(A棟)	232,175	3,150	富山市五福
	理学部1号館		10,490	
	総合情報基盤センター		2,301	
	理学部2号館		9,134	
	放射性同位元素総合実験室		336	
	教育学部第1棟		3,800	
	教育学部第2棟		3,553	
	教育学部第4棟		776	
	教育学部第5棟		642	
	共通教育棟(C棟)		1,504	
	共通教育棟(D棟)		779	
	保健管理センター・事務局		1,311	
	武道場		554	
	第1体育館		1,322	
	学生会館		2,509	
	水素同位体科学研究センター		2,365	
	中央図書館		9,470	
	大学食堂		2,340	
	教育学部第3棟		2,630	
	エネルギーセンター		340	
	共通教育棟(E棟)		1,996	
	弓道場射場		78	
	経済学部演習棟		2,329	
	経済学部講義棟		1,064	
	第2体育館		1,373	
	共通教育棟(B棟)		1,670	
	事務局		2,538	
	職員会館		573	
	教育学部附属教育研究実践総合センター		531	
	機械系実験研究棟		2,945	
	材料系実験研究棟		2,653	
	共通研究棟		1,456	
	管理棟Ⅱ		1,152	
	管理棟Ⅰ		1,318	
	実習工場		746	
	第2大学食堂		1,301	
	化学系実験研究棟		4,033	
	共通講義棟		2,605	
	電気系実験研究棟		3,780	
	高電圧実験室		176	
	環境安全推進センター		459	
	第3体育館		1,188	
	学術研究・産学連携本部		2,144	
	国際機構棟		380	
	人文学部校舎		7,663	
	黒田講堂		1,741	
	電子情報実験研究棟		2,237	
	化学生物実験研究棟		1,430	
	経済学部研究棟		6,288	
	大学院実験研究棟		4,354	
総合研究棟	6,483			
学生支援・地域連携交流プラザ	1,477			
サークル棟	1,693			
創造工学センター	204			
自然科学研究支援ユニット極低温量子科学施設	209			
総合情報基盤センターデータセンター棟	990			
総合教育研究棟(工学系)	6,378			
災害対策プラザ	707			
都市デザイン学部実験実習棟	2,385			
都市デザイン学部研究棟	1,237			
都市デザイン学部データサイエンス研究棟	586			
その他	3,189			
合計	147,045			

区分	棟名称	土地 (m ²)	建物面積 (m ²)	所在地
杉谷キャンパス	講義実習棟	381,600	6,987	富山市杉谷
	解剖棟		945	
	体育館		1,495	
	福利棟		1,438	
	厚生棟		1,085	
	医学部研究棟		18,003	
	附属病院		47,780	
	生命科学先端研究支援ユニット		6,040	
	管理棟		2,439	
	薬学部研究棟		6,098	
	共同利用研究棟		3,364	
	医薬学図書館・保健管理センター		4,075	
	薬用植物園研究棟		402	
	弓道場射場		95	
	看護師宿舎		4,768	
	和漢医薬学総合研究所		3,485	
	職員会館		278	
	武道館		335	
	民族薬物資料館・薬学研究資料館		1,496	
	国際交流会館		1,061	
	看護学科研究棟		7,881	
	医・薬学部研究棟		3,146	
	遺伝子実験施設		1,509	
	NMR装置棟		99	
	保育所		242	
	南病棟		13,250	
	薬学部研究棟Ⅱ		2,108	
	災害対策プラザ		419	
	医薬イノベーションセンター		6,842	
	ヘリポート		841	
外来棟	3,057			
立体駐車場	7,418			
厨房棟	1,710			
外来トリアージ棟	425			
その他	5,677			
	合計		166,293	
高岡キャンパス	C棟	99,847	3,451	高岡市二上町
	A・B1棟		3,337	
	H棟		3,508	
	D棟		2,336	
	エネルギー棟		721	
	G棟		1,734	
	F棟		1,078	
	洗心苑		428	
	E棟		2,225	
	B2棟		178	
	J棟		386	
	その他		116	
	合計		19,498	
西田地方		11,166	378	富山市花園町
附属学校	附属中学校校舎	39,333	5,015	富山市五艘
	附属中学校体育館		747	
	附属小学校校舎		2,974	
	附属小学校体育館		980	
	附属幼稚園舎		975	
	附属特別支援学校校舎		2,957	
	附属学校共用棟		1,184	
	その他		982	
	合計		15,814	
寺町		50,178	9,063	富山市寺町
五福宿舎		7,112	4,056	富山市五福
西田地方宿舎		8,116	5,412	富山市西田地方町
南太閤山宿舎		14,333	8,874	射水市南太閤山
立山施設		借用の為 0	95	中新川郡立山町浄土山頂

キャンパス図

五福キャンパス

(事務局、人文学部、教育学部、経済学部、理学部、工学部、都市デザイン学部)



A Zone

- A1 黒田講堂
- A2 国際機構棟
- A3 多目的施設
- A4 共通教育棟 (A棟)
- A5 共通教育棟 (B棟)
- A6 共通教育棟 (C棟)
- A7 共通教育棟 (D棟)
- A8 共通教育棟 (E棟)
- A9 災害対策プラザ

B Zone

- 教育学部・都市デザイン学部
- B1 教育学部第1棟
 - B2 教育学部第2棟
 - B3 教育学部第3棟
 - B4 教育学部第4棟
 - B5 教育学部第5棟
 - B6 教育研究実践総合センター
 - B7 学生会館
 - 生協コンビニ・ATM
 - B8 都市デザイン学部研究棟

C Zone

- C1 第1体育館
- C2 第2体育館
- C3 大学食堂
- C4 中央図書館
- C5 プール
- C6 武道場
- C7 職員会館

D Zone

- 本部
- D1 事務局
 - D2 学生支援・地域連携交流プラザ
 - D3 保健管理センター
 - D4 AZAMI (カフェ)
 - 警備員室
- 経済学部
- D5 経済学部研究棟
 - D6 経済学部演習棟
 - D7 経済学部講義棟

E Zone

- 理学部・都市デザイン学部
- E1 理学部1号館
 - E2 理学部2号館
 - E3 総合研究棟
 - E4 水素同位体科学研究センター
 - E5 自然科学研究支援ユニット
極低温量子科学施設
 - E6 総合情報基盤センター
 - E7 自然科学研究支援ユニット
放射性同位元素実験施設
 - E8 環境安全推進センター
 - E9 都市デザイン学部
データサイエンス研究棟

F Zone

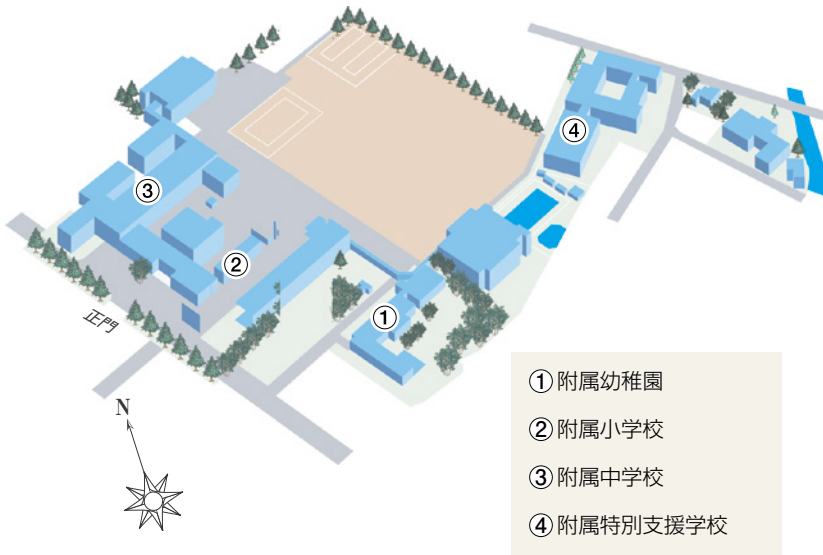
- 人文学部
- F1 人文学部校舎
 - F2 学生支援施設 (サークル棟)
 - F3 第3体育館
 - テニスコート
 - グラウンド1

G Zone

- 工学部・都市デザイン学部
- G1 機械系実験研究棟
 - G2 共通研究棟
 - G3 材料系実験研究棟
 - G4 管理棟
 - G5 化学系実験研究棟
 - G6 共通講義棟
 - G7 電気系実験研究棟
 - G8 高電圧実験室
 - G9 電子情報実験研究棟
 - G10 化学生物実験研究棟
 - G11 大学院実験研究棟
 - G12 実習工場
 - G13 第2大学食堂
 - G14 学術研究・産学連携本部
 - G15 富山市新産業支援センター
 - G16 総合教育研究棟 (工学系)
 - G17 創造工学センター
 - G18 都市デザイン学部実験実習棟
 - グラウンド2

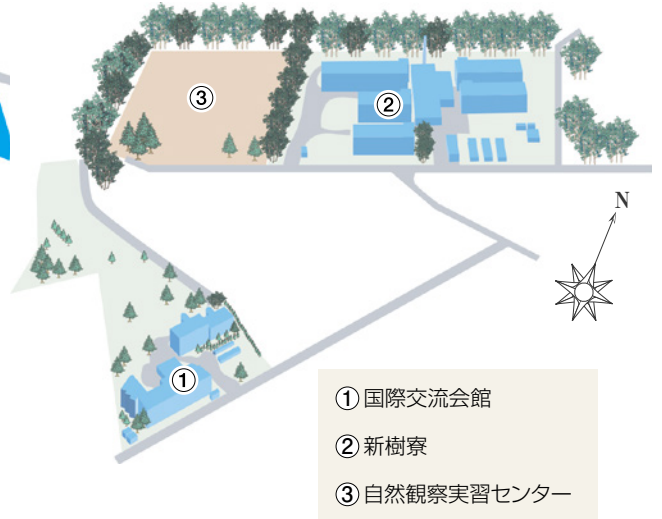
五艘地区

(教育学部 附属学校)



寺町地区

(国際交流会館、新樹寮)



杉谷キャンパス

(医学部、薬学部、和漢医薬学総合研究所、附属病院)



高岡キャンパス

(芸術文化学部)



- | | | |
|---------------|------------------------|----------|
| A A棟 | E E棟 | 多目的グラウンド |
| B1 B1棟 | F F棟 芸術文化図書館 | テニスコート |
| B2 B2棟 | G G棟 体育館 | 洗心苑 |
| C C棟 | H H棟 食堂・生協コンビニ | |
| D D棟 | J J棟 災害対策プラザ | |



五福キャンパス



杉谷キャンパス



高岡キャンパス

位置図

- 東京 から** 羽田空港から(約1時間)
JR東京駅から(約2時間10分)
高速バス(約6時間30分)
- 大阪 から** JR大阪駅から(約3時間10分)
車で名神高速道路-米原JCT-北陸自動車道-富山
高速バス(約5時間40分)
- 名古屋 から** JR名古屋駅から(約3時間)
車で名神高速道路-一宮JCT-東海北陸自動車道-富山
高速バス(約3時間40分)
- 北海道 から** 新千歳空港から(約1時間30分)



高岡キャンパス

〒933-8588 高岡市二上町180
代表電話: 0766-25-9111

- バス
高岡駅から約20分
JR新高岡駅から約30分
- 市内電車
高岡駅から約20分
「米島口(よねじまぐち)」降車徒歩20分
- タクシー
高岡駅から約15分
JR新高岡駅から約20分
- 車
能越自動車道「高岡北IC」から約10分

杉谷キャンパス

〒930-0194 富山市杉谷2630
代表電話: 076-434-2281

- バス
富山きときと空港から富山駅まで約20分
富山駅[南口側]から約30分
- タクシー
富山きときと空港から約25分
富山駅[南口側]から約25分
- 車
北陸自動車道「富山西IC」から約5分
または「富山IC」から約25分

五福キャンパス

〒930-8555 富山市五福3190
代表電話: 076-445-6011

- バス
富山きときと空港から富山駅まで約20分
富山駅[南口側]から約20分
- 市内電車
富山駅から約15分
- タクシー
富山きときと空港から約20分
富山駅[南口側]から約15分
- 車
北陸自動車道「富山西IC」から約15分
または「富山IC」から約20分



国立大学法人 **富山大学** 概要2023

編集 富山大学総務課広報・基金室

<https://www.u-toyama.ac.jp>

リサイクル適性[®]

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。